

2020年7月現在

## - 研究実績 -

## 海岸研究室有限公司

## ■研究発表論文

【2019】

村田昌樹, 宇多高明, 野志保仁, 小林昭男, 芹沢真澄, 宮原志帆: 上甌島の長目の浜 barrier へ礫が運ばれる機構, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 75, No. 2, pp.I\_617-I\_622, 2019.

石川仁憲, 宇多高明, 甚田隆光, 星野康弘, 三波俊郎, 花田昌幸: 数値モデルによる石川海岸片山津工区における粗粒材養浜の効果検証, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 75, No. 2, pp.I\_653-I\_658, 2019.

宇多高明, 大木康弘, 永沼慎吾, 菊池正悟, 大谷靖郎, 三波俊郎, 市村 康: web カメラによる碎波帯内の微地形と流れの監視, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_85-I\_90, 2019.

横田拓也, 小林昭男, 宇多高明, 芹沢真澄, 野志保仁, 勝木厚成: 波による漂砂と飛砂を同時に考慮した地形変化予測モデル, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_469-I\_474, 2019.

宇多高明, 小林 修, 渡邊 徹, 菊池正悟, 益子勝成, 大谷靖郎, 芹沢真澄: 阿字ヶ浦におけるサンドリサイクルによる動的平衡海浜の形成, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_571-I\_576, 2019.

石川仁憲, 宇多高明, 古池 鋼, 貝沼征嗣, 大橋 祐: 天竜川の流出土砂量の増量が西部遠州灘海岸にもたらす海岸保全上の効果, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_577-I\_582, 2019.

宇多高明, 小林 修, 渡邊 徹, 菊池正悟, 小貫徹也, 大谷靖郎, 芹沢真澄: 阿字ヶ浦海岸における静的安定海浜の形成予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_583-I\_588, 2019.

大橋 祐, 貝沼征嗣, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 退潮流による今切口沖の ebb tidal delta の発達過程の解析, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_637-I\_642, 2019.

宇多高明, 石川仁憲, 貝沼征嗣: 沿岸漂砂のある場での汀線からの連続排水が海浜地形に及ぼす影響, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_643-I\_648, 2019.

貝沼征嗣, 大橋 祐, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 遠州灘海岸西部の地形変化と沿岸漂砂量分布の推定, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_649-I\_654, 2019.

大岡 朗, 鈴木 悟, 保竹真幸, 宇多高明, 石川仁憲: セットバック型を有する沼川新放水路の最適構造の検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.75, No.2, pp.I\_655-I\_660, 2019.

Uda, T., Serizawa, M., and Miyahara, S. 2019. Formation mechanism of comet-tail spit extending on lee of Mashima Island on Sone tidal flat, Proc. 9th Inter. Conf. on Coastal Sediments 2019, pp. 765-777.

Onaka, S., Uda, T., San-nami, T., Ichikawa, S., and Mimaki, J. 2019. Rapid accumulation of coral debris on coral cays in Tuvalu by storm waves and subsequent deformation, Proc. 9th Inter. Conf. on Coastal Sediments 2019, pp. 945-958.

Iwase, K., Uda, T., Kobayashi, A., Serizawa, M., and Noshi, Y. 2019. Verification of performance of model for predicting formation of river-mouth terrace in dynamic equilibrium, Proc. 10th Int. Conf. on Asian and Pacific Coasts (APAC2019), Hanoi, Vietnam, pp. 298-294.

【2018】

- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 細川順一, 蛸 哲之: 2017 年台風 21 号時の高波浪による柳島・茅ヶ崎中・菱沼海岸の侵食, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 74, No. 2, pp.I\_635-I\_640, 2018.
- 貝沼征嗣, 袴田充哉, 戸田晃裕, 宇多高明, 石川仁憲: 福田漁港周辺での東向き沿岸漂砂の阻止による地形変化の解析, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 74, No. 2, pp.I\_665-I\_670, 2018.
- 貝沼征嗣, 袴田充哉, 永井友子, 宇多高明, 石川仁憲: 遠州灘に面した浜松五島～湖西海岸での汀線変化と沿岸漂砂量の推定, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 74, No. 2, pp.I\_671-I\_676, 2018.
- 諸橋 良, 岡本光永, 石野 巧, 宇多高明, 石川仁憲, 市川義隆, 渡邊卓弥: 沼川第二放水路の函体内堆砂の排砂実験, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 74, No. 2, pp.I\_743-I\_748, 2018.
- 大谷靖郎, 宇多高明, 大崎康弘, 永沼慎吾, 三波俊郎, 大木康弘, 市村 康: 鉾田海岸における web カメラによる沿岸流・離岸流の発生状況の観測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_91-I\_96, 2018.
- 貝沼征嗣, 戸田晃裕, 津島康弘, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 天竜川河口～御前崎間の東部遠州灘海岸における土砂動態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_805-I\_810, 2018.
- 石川仁憲, 宇多高明, 古池 鋼, 貝沼征嗣, 戸田晃裕, 津島康弘: 複合 6 要因に起因する東部遠州灘海岸の侵食機構の解析, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_847-I\_852, 2018.
- 石川仁憲, 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆, 諸橋 良, 岡本光永, 石野 巧: 放水路により一方向沿岸漂砂が阻止された条件での前浜～後浜の地形変化予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_871-I\_876, 2018.
- 石川仁憲, 宇多高明, 古池 鋼, 細川順一, 蛸 哲之: 地先海岸のみならず漂砂系全体でのバランスも考慮した地形変化予測モデルの構築, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_883-I\_888, 2018.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 複数の鉤状砂嘴が重なり合う複合砂嘴の発達予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_889-I\_894, 2018.
- 甚田隆光, 星野康弘, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 花田昌幸: 石川海岸片山津工区における粗粒材養浜後の地形変化の実態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_895-I\_900, 2018.
- 宇多高明, 大塚友樹, 青野哲也, 芹沢真澄, 宮原志帆, 大木康弘: 大洗磯浜海岸の侵食実態と粗粒材養浜による海浜安定化, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_901-I\_906, 2018.
- 宇多高明, 岡嶋康子, 宮島祥子, 大谷靖郎, 繁原俊弘, 芹沢真澄: 深海への土砂流出軽減策としての離岸堤背後での土砂掘削-下新川海岸荒俣地先での検討-, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_907-I\_912, 2018.
- 諸橋 良, 岡本光永, 石野 巧, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 新中川放水路での出水による吐口フラッシュと波による再堆積の現地観測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.74, No.2, pp.I\_919-I\_924, 2018.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 曾根干潟にある間島の背後に伸びた comet-tail spit の形成機構, 地形, Vol.39, pp.149-166, 2018.
- 宇多高明, 石川仁憲: 砂浜が有する保全効果の評価手法に関する一提案, 海岸, Vol.55, pp.52-55, 2018.
- 宇多高明, 三波俊郎: リーフからの砂供給量の減少と人工改変によるリーフ海岸の変化, 土木技術資料, Vol.60-6, pp.50-53, 2018.

- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆 : 3次元海浜変形予測モデルによる構造物周辺の地形変化予測, 土木技術資料, Vol.60-11, pp.60-63, 2018.
- 宇多高明, 大木康弘, 三波俊郎 : 日立市の河原子海水浴場付近での侵食と今後の方策, 建設機械施工, Vol.70, No.3, pp.32-41, 2018.
- Ishikawa, T., Uda, T., Serizawa, M., Okamoto, M., Noshi, Y. and Miyahara, S. 2017. Reductions in berm height and foreshore slope due to seaward flow originated from filtration on gravel beach, Coastal Dynamics 2017, Paper No. 102, pp. 237-248.
- Serizawa, M., Uda, T., Miyahara, S. 2017. Interaction and mergence of cusped forelands formed at end of multiple sandy islands under waves, Proc. 3rd Inter. Conf. on Estuarine Coastal and Shelf Studies - ECSS2017, pp. 129-139.
- Uda, T., Serizawa, M. and Miyahara, S. 2018. Development of sand bars around islands offshore of Krabi in Thailand and their prediction, Proc. 36th Conf. on Coastal Eng., Baltimore, Maryland, papers.22, pp. 1-14.
- Serizawa, M., Uda, T., and Miyahara, S. 2018. Prediction of formation of curved sand spit using BG model, Proc. 36th Conf. on Coastal Eng., Baltimore, Maryland, papers.24, pp.1-15.
- Miyahara, S., Uda, T., and Serizawa, M. 2018. Interaction and merging of cusped forelands formed at end of multiple sandy islands under waves, Proc. 36th Conf. on Coastal Eng., Baltimore, Maryland, papers.29, pp. 1-15.
- Yokota, T., Kobayashi, A., Uda, T., Serizawa, M., Katsuki, A. and Noshi, Y. 2018. Model for predicting formation of blowout on coastal sand dune using cellular automaton method, Proc. 36th Conf. on Coastal Eng., Baltimore, Maryland, papers.40, pp. 1-12.
- Ishikawa, T., Uda, T., San-nami, T., Hosokawa, J., and Tako, T. 2018. Possibility of offshore discharge of nourishment sand in terms of sand volume and grain size composition, Proc. 36th Conf. on Coastal Eng., Baltimore, Maryland, papers.47, pp. 1-14.
- Uda, T., Serizawa, M., and Miyahara, S. 2018. Segmentation of water body and lakeshore changes behind an island owing to wind waves, pp. 49-70, Chap. 4 in Applications in water systems management and modeling, ed. by Daniela Malcangio, 129 p., IntecOpen.
- Uda, T., Serizawa, M., and Miyahara, S. 2018. Morphodynamic model for predicting beach changes based on Bagnold's concept and its applications, INTEC, London, UK.

【2017】

- 宇多高明, 石川仁憲, 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永, 芹沢真澄, 宮原志帆: 沼川第二放水路の改修に伴う周辺海岸への影響予測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp.I\_192-I\_197, 2017.
- 宇多高明, 宮原志帆, 橋本佳樹: 猪苗代湖北岸の長瀬川河口周辺での孤立砂州の不安定的発達, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp.I\_504-I\_509, 2017
- 百瀬尚至, 鈴木知陽, 佐藤雅史, 山本庸介, 宇多高明, 石川仁憲, 芹沢真澄, 宮原志帆: 透過型有脚式離岸堤を用いた L 型突堤の漂砂制御機能の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp.I\_564-I\_569, 2017.
- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 細川順一, 蛸 哲之: 七里ヶ浜の長期的海浜変形と海浜置砂による砂浜拡幅, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp.I\_570-I\_575, 2017.
- 百瀬尚至, 鈴木知陽, 佐藤雅史, 宇多高明, 佐藤慎司, 片山裕之, 前田勇司, 石川仁憲: 透過型有脚式離岸堤を用いた L 型突堤の機能性に関する移動床模型実験, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp.I\_576-I\_581, 2017.
- 宇多高明, 三波俊郎, 大木康弘, 大谷靖郎, 五十嵐竜行: 南向き沿岸漂砂の卓越する片貝漁港周辺での堆砂機構の解析, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 73, No. 2, pp.I\_600-I\_605, 2017.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: リーフ海岸での砂浜形成機構-沖縄本島南部の奥武島での観察を基に-, 地形, Vol.38, pp.147-163, 2017
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: サンゴ洲島における砂州の季節変動-Maldives Embudu Village 島の例-, 地形, Vol.38, pp.165-181, 2017.
- 宇多高明, 野志保仁, 石川仁憲, 鈴木 悟, 岡本光永: バーム背後の放水路からの浸透流によるバームの消失実験, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_571-I\_576, 2017.
- 横田拓也, 小林昭男, 宇多高明, 芹沢真澄, 勝木厚成, 野志保仁: セルオートマトン法による海岸砂丘での blowout の形成予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_583-I\_588, 2017.
- 宇多高明, 石川仁憲, 佐藤雅史, 山本庸介, 宮原志帆, 芹沢真澄: 有脚式離岸堤を用いた L 型突堤の移動床模型実験の再現計算, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_691-I\_696, 2017.
- 宇多高明, 山田義仁, 村井寛昌, 大谷靖郎, 五十嵐竜行, 大木康弘, 三波俊郎: 下新川海岸の生地鼻に造られた有脚式突堤の堆砂効果の現地実測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_697-I\_702, 2017.
- 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永, 宇多高明, 石川仁憲: セットバック型放水路吐口からの流路形成に関する大規模掘削実験, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_703-I\_708, 2017.
- 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永, 宇多高明, 石川仁憲, 田中博通, 居波智也, 櫻田哲生: 暗渠型放水路の吐口内への堆砂機構-現地実測と移動床模型実験-, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_709-I\_714, 2017.
- 宇多高明, 佐藤雅史, 栗田貴男, 三宅由衣, 石川仁憲, 花田昌幸: 三保松原砂嘴先端部の地形変化機構とサンドリサイクル時の地形変化, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_715-I\_720, 2017.
- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永: 富士海岸における高波浪による後浜侵食の実態解析, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_721-I\_726, 2017.

宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 細川順一, 蛸 哲之: 茅ヶ崎漁港沖の-12 m 以深の沖浜における堆砂機構の解明, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_727-I\_732, 2017.

宇多高明, 山田義仁, 村井寛昌, 大谷靖郎, 五十嵐竜行, 大木康弘, 宮原志帆: 下新川海岸東部(宮崎漁港~入善海底谷)の陸棚における長期的侵食, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_733-I\_738, 2017.

宇多高明, 山田義仁, 村井寛昌, 大谷靖郎, 五十嵐竜行, 大木康弘, 三波俊郎: 下新川海岸の黒部川河口および荒俣地先での深海への土砂流出の実態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_739-I\_744, 2017.

宇多 高明, 五十嵐 竜行, 立石 賢吾, 繁原 俊弘, 芹沢 真澄, 宮原 志帆: 西湘海岸から海底谷への土砂流出機構の解析, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_745-I\_750, 2017.

宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: タイの Krabi 沖にある島周辺における砂州の発達とその予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.73, No.2, pp.I\_757-I\_762, 2017.

【2016】

- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 円い湖の一部を埋め立てた場合に起こる湖浜の変形予測, 土木技術資料, Vol.58-3, pp.48-51, 2016.
- 宇多高明, 小林昭男, 伊達文美, 三上康光, 芹沢真澄: Vietnam の Van Phong Bay 内の Bip Island 周辺における陸繋砂州の発達, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_85-I\_90, 2016.
- 宇多高明, 大木康弘, 三波俊郎: 日立市河原子海水浴場で進む急激な侵食の実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_103-I\_108, 2016.
- 宇多高明, 三波俊郎, 大谷靖郎, 大木康弘: 北九十九里浜の汀線変化と飯岡漁港周辺における海浜変形の実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_109-I\_114, 2016.
- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永: 富士海岸にある暗渠・セットバック型放水路周辺の海浜形状の比較, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_127-I\_132, 2016.
- 石川仁憲, 宇多高明, 水野良幸, 佐藤雅史, 三波俊郎: 静岡清水海岸における sand body の移動実態と養浜効果の検証, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_133-I\_138, 2016.
- 宇多高明, 石川仁憲, 芹沢真澄, 宮原志帆, 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永: BG モデルによる従来型暗渠放水路吐口への堆砂機構の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_568-I\_573, 2016.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 閉鎖水域内に島 (州島) がある条件下での風波による地形変化の計算, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_994-I\_999, 2016.
- 芹沢真澄, 宇多高明, 宮原志帆: 複数の州島の端部砂州の干渉と融合による地形変化の予測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 72, No. 2, p.I\_1000-I\_1005, 2016.
- 芹沢真澄, 宇多高明, 宮原志帆: 風向出現確率が円形・楕円形分布で与えられる場での矩形湖の分裂計算, 地形, Vol.37, pp.209-236, 2016.
- 宇多高明, 石川仁憲, 芹沢真澄, 宮原志帆, 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永: セットバック型放水路の砂州フラッシュ機能の予測モデル, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_541-I\_546, 2016.
- 宇多高明, 松浦健郎, 大崎康弘, 大木康弘, 三波俊郎: 大洗磯浜海岸の侵食と大洗水族館の護岸空洞化, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_643-I\_648, 2016.
- 貝沼征嗣, 遠藤和正, 榊原秀作, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: Tidal Inlet の発達に伴う沿岸漂砂の不連続性に起因する下手海岸での急激な侵食, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_691-I\_696, 2016.
- 貝沼征嗣, 遠藤和正, 榊原秀作, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 浜松篠原海岸の粗粒材養浜区域の沖合で進む大規模侵食, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_709-I\_714, 2016.
- 宮原志帆, 宇多高明, 芹沢真澄: 波向変動に対する尖角州先端部の応答機構, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_727-I\_732, 2016.
- 芹沢真澄, 宇多高明, 宮原志帆: 島による波の遮蔽を受ける場での尖角州の発達, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_733-I\_738, 2016.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆, 伊達文美: 四万十川河口部における砂嘴の発達と BG モデルによるその再現, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_733-I\_738, 2016.
- 宇多高明, 三波俊郎, 高橋幸一, 蛸 哲之, 石川仁憲: 土砂バランスの崩れにより進む海浜変形と今後

- の土砂管理-湘南海岸の例, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_751-I\_756, 2016.
- 大木康弘, 宇多高明, 大谷靖郎, 五十嵐竜行, 三波俊郎: 九十九里浜全域における地盤沈下を考慮した沿岸漂砂量分布の算定, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_775-I\_780, 2016.
- 大谷靖郎, 宇多高明, 大木康弘, 五十嵐竜行, 古池 鋼: 地盤沈下を考慮した九十九里浜全域の長期海浜変形予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_781-I\_786, 2016.
- 石川仁憲, 宇多高明, 佐藤雅史, 水野良幸, 宮原志帆, 芹沢真澄: 静岡清水海岸における sand body の移動現象の再現と海岸保全, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_805-I\_810, 2016.
- 宇多高明, 石川仁憲, 佐藤雅史, 水野良幸, 宮原志帆, 芹沢真澄: 動的平衡海浜での突堤による沿岸漂砂量低減効果の定量評価, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_811-I\_816, 2016.
- 佐藤純一郎, 稲葉浩正, 内山賀津高, 宇多高明, 石川仁憲, 芹沢真澄, 宮原志帆: 相良須々木海岸の海浜変形と養浜による砂浜創生, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.72, No.2, pp.I\_817-I\_822, 2016.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 閉じた漂砂系の中で離岸堤を設置する場合の施工順序による地形変化の違い, 土木技術資料, Vol.58-10, pp.52-55, 2016.
- Uda, T., Serizawa, M., Okamoto, M., Ishikawa, T., Noshi, Y. and Miyahara, S. 2016.Reductions in berm height and foreshore slope due to filtration flow on gravel beach Proc. 35th Conf. Coastal Eng., sediment.1, pp. 1-1.
- Uda, T., Serizawa, M. and Miyahara, S. 2016. Formation of cusped foreland in field subject to wave-sheltering effect of islands, Proc. 35th Conf. Coastal Eng., sediment.4, pp. 1-14.
- Miyahara, S., Uda, T. and Serizawa, M. 2016. Field observation and numerical simulation of barrier island formation as a result of elongation of sand spit and its attachment to opposite shore, Proc. 35th Conf. Coastal Eng., sediment.5, pp. 1-14.
- Serizawa, M., Uda, T. and Miyahara, S. 2016. Segmentation of water body given probability of occurrence of wind direction by circular or elliptic distribution, Proc. 35th Conf. Coastal Eng., sediment.6, pp. 1-15.
- San-nami, T., Uda, T., Yamada, M. and Ishikawa, T. 2016. Long-term topographic changes around sand spit and impact of extraordinary high waves during typhoons, Proc. 35th Conf. Coastal Eng., sediment.8, pp. 1-15.

【2015】

- 宇多高明, 野志保仁, 小林昭男, 宮原志帆, 芹沢真澄: Vietnam 南東部 Phan Rang City 近郊で観察された海浜変形, 地形, Vol.36, pp.107-123, 2015.
- 島田俊之, 佐藤裕太, 宇多高明, 大木康弘, 三波俊郎: 茨城県河原子海水浴場周辺の海浜地形変化, 日本沿岸域学会研究討論会 2015 講演概要集, No.28 (PDF), セッション 12-1, 2015.
- 宇多高明, 星上幸良, 芹沢真澄, 宮原志帆: 三河湾に位置する三河大島東端に発達した尖角岬の現地踏査, 日本沿岸域学会研究討論会 2015 講演概要集, No.28 (PDF), セッション 12-3, 2015.
- 宇多高明, 野本智快, 大崎康弘, 大木康弘, 芹沢真澄, 宮原志帆: 大洗磯浜海岸の海浜変形と粗粒材養浜の効果検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_577-I\_582, 2015.
- 野本智快, 大崎康弘, 宇多高明, 大木康弘, 芹沢真澄, 三波俊郎: 那珂川の流出土砂量の減少に起因する大洗磯浜海岸の侵食, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_583-I\_588, 2015.
- 宇多高明, 石川仁憲, 野志保仁, 芹沢真澄, 石野 巧, 鈴木 悟, 岡本光永: 浸透流による礫浜のパーム高と前浜勾配の低減効果, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_619-I\_624, 2015.
- 宮原志帆, 三波俊郎, 宇多高明, 芹沢真澄: 干潟上の砂州の変形・移動および海浜との融合—現地実測と予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_637-I\_642, 2015.
- 石野 巧, 岡本光永, 鈴木 悟, 宇多高明, 石川仁憲, 田中博通, 居波智也, 櫻田哲生: セットバック型放水路の機能性に関する移動床平面実験, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_709-I\_714, 2015.
- 宇多高明, 三波俊郎, 石川仁憲: リーフ海岸での砂供給量の推定 - 沖縄本島金武岬周辺の例 -, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_727-I\_732, 2015.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 尖角岬の発達予測モデル, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_733-I\_738, 2015.
- 遠藤和正, 榊原秀作, 宇多高明, 石川仁憲, 古池 鋼: 浜松篠原海岸の養浜後の汀線前進と沖合侵食の再現計算, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.71, No.2, pp.I\_781-I\_786, 2015.
- 佐藤雅史, 岩崎伸昭, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 2013 年台風 18, 26 号時の高波浪による清水海岸の海浜変形の実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_287-I\_292, 2015.
- 宮原志帆, 宇多高明, 芹沢真澄: Spain の El Puntal spit 内側の極浅海域における砂嘴の発達, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_407-I\_412, 2015.
- 仲嶺 智, 山城明統, 宇多高明, 嶺井治男, 芹沢真澄, 宮原志帆: 伊良部島の長山の浜北部の海浜安定化策の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_461-I\_466, 2015.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆, 大木康弘: 神向寺海岸の 6, 7 号ヘッドランド間中央部の前浜拡幅手法, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_748-I\_753, 2015.
- 宇多高明, 宮原志帆, 三波俊郎, 芹沢真澄: 周防灘に面した荻田市沖の干潟上に形成された孤立砂州の変形, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_754-I\_759, 2015.
- 宇多高明, 小林昭男, 芹沢真澄, 伊達文美, 野志保仁, 宮原志帆: Vietnam の Vung Tau 近郊での河口砂州伸長と rhythmic pattern の海浜形成, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_760-I\_765, 2015.
- 宇多高明, 野志保仁, 小林昭男, 芹沢真澄, 宮原志帆, 伊達文美: Vietnam の Vung Tau 近傍の Co May River 河口部における地形変動, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 71, No. 2, pp.I\_766-I\_771, 2015.



- 宇多高明, 三牧純子, 大中 晋, 三波俊郎 : Cyclone 襲来時の高波浪による Tuvalu の洲島へのサンゴ礫の堆積とその後の変形, 地形, Vol.36, pp.285-308, 2015.
- San-nami, T., Uda, T., Miyahara, S. and Serizawa, M. 2015. Deformation of an isolated offshore sand bar on tidal flat and merge with beach due to waves, Coastal Sediments '15, CD-Rom, No. 14, pp. 1-14.
- Ishikawa, T., Uda, T., San-nami, T. and Furuike, K. 2015. Verification of effect of gravel nourishment on Hamamatsu-shinohara coast, Japan, Coastal Sediments '15, CD-Rom, No. 47, pp. 1-14.
- Serizawa, M., Uda, T. and Miyahara, S. 2015. Model for predicting formation of a cusped foreland, Coastal Sediments '15, CD-Rom, No. 65, pp. 1-14.
- Miyahara, S., Uda, T., Serizawa, M. and San-nami, T. 2015. Prediction of effects of artificial alteration on segmentation of a slender water body, Coastal Sediments '15, CD-Rom, No. 164, pp. 1-14.
- Noshi, Y., Uda, T., Kobayashi, A., Miyahara, S. and Serizawa, M. 2015. Beach Changes Observed in Phan Rang City in Southeast Vietnam, 8th Int. Conf. on Asian and Pacific Coasts (APAC 2015), Procedia Eng., Vol. 116, pp. 163-170.
- Miyahara, S., Uda, T., Serizawa, M. and San-nami, T. 2015. Elongation of sand spit and profile changes on sloping shallow seabed, 8th Int. Conf. on Asian and Pacific Coasts (APAC 2015), Procedia Eng., Vol. 116, pp. 245-253.
- Ishikawa, T., Uda, T. and San-nami, T. 2015. Evaluation of sand supply from coral reef - example of carbonate beaches near Point Kin in Okinawa, 8th Int. Conf. on Asian and Pacific Coasts (APAC 2015), Procedia Eng., Vol. 116, pp. 470-477.
- Uda, T., Onaka, S. and Serizawa, M. 2015. Beach erosion downcoast of Pengambengan fishing port in western part of Bali Island Japan, 8th Int. Conf. on Asian and Pacific Coasts (APAC 2015), Procedia Eng., Vol. 116, pp. 494-501.
- Serizawa, M., Uda, T. and Miyahara, S. 2015. Effects of construction of offshore breakwaters on segmentation of a slender water body, 8th Int. Conf. on Asian and Pacific Coasts (APAC 2015), Procedia Eng., Vol. 116, pp. 502-509.
- Uda, T. 2015. Coastal Zone Management (4) – Downcoast Erosion Triggered by Exhaustion of Sand Supply from Sea Cliffs with Northern Kujukuri Beach in Japan taken as Example, Chapter 16, pp. 487-503, in International Compendium of Coastal Eng., ed. by S. Sato and M. Isobe, World Scientific.

【2014】

- 宇多高明, 細川順一, 石川仁憲 (2014): 粗粒材養浜により蘇った砂浜: 茅ヶ崎中海岸の例, 土木技術資料, Vol.56-2, pp.56-59.
- 芹沢真澄, 宇多高明, 宮原志帆 (2014): 海岸実務者のための海浜変形予測モデル, 第 24 回海洋工学シンポジウム, 日本海洋工学会, 日本船舶海洋工学会, OES24-001, pp.1-8.
- 宇多高明, 清野聡子, 星上幸良, 芹沢真澄, 宮原志帆: 玄海灘に面した箱瀬～曾根の鼻間のポケットビーチの海浜変形, 日本沿岸域学会研究討論会 2014 講演概要集, No.27 (PDF), セッション 04-05, 2014.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: Oriented Lakes の形成機構, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_611-I\_615, 2014.
- 芹沢真澄, 宇多高明, 宮原志帆: 傾斜した浅海底における砂嘴発達時の地形変化特性, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_656-I\_660, 2014.
- 宇多高明, 小沼佳記, 石神将次郎, 石川仁憲, 古池 鋼, 三波俊郎: 地盤沈降と波の作用が重合した御前崎海岸の長期的地形変化の再現, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_661-I\_665, 2014.
- 市野智一, 水野良幸, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 世界文化遺産として指定された三保松原周辺での侵食の実態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_666-I\_670, 2014.
- 杉保聡正, 岩崎伸昭, 宇多高明, 石川仁憲, 芹沢真澄, 宮原志帆: 世界文化遺産「富士山」の構成資産としての三保松原の海岸保全策の検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_671-I\_675, 2014.
- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 加畑勝之, 佐藤純一郎: 駿河湾西岸の御前崎～勝間田川河口間の海浜変形に及ぼす地殻変動の影響, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_676-I\_680, 2014.
- 國村一郎, 丹羽秀一, 熊切良行, 宇多高明, 三波俊郎, 石川仁憲: 富士川河口部における洪水時の土砂動態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_686-I\_690, 2014.
- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 青葉佳宏, 大井戸志朗: 静岡県浜松篠原海岸における粗粒材養浜後の地形変化実態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_691-I\_695, 2014.
- 宇多高明, 石川仁憲, 古池 鋼, 青葉佳宏, 大井戸志朗: 静岡県浜松篠原海岸における養浜後の地形変化の再現と将来予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_696-I\_700, 2014.
- 國村一郎, 丹羽秀一, 熊切良行, 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎: 富士海岸の吉原工区における礫養浜の効果検証, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_701-I\_705, 2014.
- 船橋昇治, 四十物 利孝, 武笠裕美, 宇多高明, 酒井和也, 芹沢真澄, 宮原志帆: 二宮海岸での粗粒材養浜による砂浜復元の実証実験, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_706-I\_710, 2014.
- 渡辺国広, 諏訪義雄, 宇多高明, 五十嵐竜行, 石川仁憲, 酒井和也: 低天端突堤による砂礫海岸の漂砂制御の評価, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_711-I\_715, 2014.
- 片野正章, 三浦義昭, 日野口 巖, 宇多高明, 五十嵐竜行, 大木康弘, 三波俊郎: 仙台湾南部山元海岸で観測された津波の戻り流れによるバーの消失, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.70, No.2, p.I\_1411-I\_1415, 2014.
- 本郷延悦, 石川仁憲, 宇多高明, 三波俊郎: 西湘海岸の侵食と高波浪による西湘パーキングエリアの護岸の被災, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_618-I\_623, 2014.

- 芹沢真澄, 宇多高明, 宮原志帆: 島により波が遮蔽された条件での湾口砂州変形の数値計算, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_630-I\_635, 2014.
- 芹沢真澄, 宇多高明, 小林昭男, 宮原志帆: BG モデルによる富津岬先端部砂州の大変動の再現計算, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_636-I\_641, 2014.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆: 陸繋砂州の発達予測モデル, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_642-I\_647, 2014.
- 宇多高明, 大中 晋, 芹沢真澄: Bali 海峡に面した Pengambangan 漁港周辺の海浜変形, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_678-I\_683, 2014.
- 宇多高明, 星上幸良, 古池 鋼, 小澤宏樹: 福井県鷹巣港防波堤背後の和布地区にある天然プールへの堆砂機構, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_696-I\_701, 2014.
- 宇多高明, 石川仁憲, 三波俊郎, 細川順一, 佐々木常光, 古池 鋼: 粗粒材養浜による茅ヶ崎中海岸の保全と隣接海水浴場への礫の広がり防止策, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_702-I\_707, 2014.
- 仲嶺 智, 山城明統, 宇多高明, 石川仁憲, 嶺井治男, 三波俊郎: 養浜による砂浜復元とアオウミガメの産卵地の回復-伊良部島の長山の浜の例, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_708-I\_713, 2014.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆, 三波俊郎: Bali 島の Sanur Beach 南東部のリーフギャップ背後の Y 字突堤沖への堆砂機構, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_756-I\_761, 2014.
- 宇多高明, 松井隆佳, 千秋智和, 星上幸良, 小澤宏樹, 芹沢真澄: 福井県浜住海岸の人工リーフの改良策の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 70, No. 2, p.I\_762-I\_767, 2014.
- 宮原志帆, 宇多高明, 芹沢真澄: 極浅海域に形成された barrier island の観察と数値計算結果との比較, 地形, Vol.35, pp.367-386, 2014.
- Uda, T., M. Serizawa and S. Miyahara. 2014. Development of Sand Spits and Cuspate Forelands with Rhythmic Shapes and Their Deformation by Effects of Construction of Coastal Structures (Chap. 19), pp. 419-450, in 'Computational and Numerical Simulations' Awrejcewicz, L. ed., INTEC. <http://www.intechopen.com/books/show/title/computational-and-numerical-simulations>
- Watanabe, S., Uda, T., Serizawa, M. and Miyahara, S. 2014. Numerical simulation of elongation and merging of bay mouth sand spits using the BG model, Proc. 34th ICCE, pp. 1-11. [https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7105/pdf\\_409](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7105/pdf_409)
- Serizawa, M., Uda, T. and Miyahara, S. 2014. Interaction between two circular sandy islands on flat shallow seabed owing to waves, Proc. 34th ICCE, pp. 1-12. [https://icce-ojs-tamu.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7106/pdf\\_410](https://icce-ojs-tamu.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7106/pdf_410)
- Ishikawa, T., Uda, T., Miyahara, S., Serizawa, M., Fukuda, M. and Hara, Y. 2014. Recovery of sandy beach by gravel nourishment - Example of Ninomiya coast in Kanagawa Prefecture, Japan, Proc. 34th ICCE, pp. 1-15. [https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7107/pdf\\_411](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7107/pdf_411)
- Miyahara, S., Uda, T. and Serizawa, M. 2014. Prediction of formation of land-tied islands, Proc. 34th ICCE, pp. 1-14. [https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7108/pdf\\_412](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7108/pdf_412)
- Uda, T., Serizawa, M., San-nami, T. and Miyahara, S. 2014. Prediction of formation of oriented lakes, Proc. 34th ICCE, pp. 1-12. [https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7109/pdf\\_413](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7109/pdf_413)
- Iwasaki, N., San-nami, T., Uda, T. and Ishikawa, T. 2014. Effect of ground subsidence due to crustal movement

on beach changes on Omaezaki coast, Japan, Proc. 34th ICCE, pp. 1-13.  
[https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7110/pdf\\_414](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7110/pdf_414)

San-nami, T., Uda, T., Serizawa, M. and Miyahara, S. 2014. Numerical simulation of elongation of sand spit on seabed with different waters depth and slopes, Proc. 34th ICCE, pp. 1-13.  
[https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7112/pdf\\_415](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7112/pdf_415)

Sato, J., San-nami, T., Uda, T. and Ishikawa, T. 2014. Field investigation of topographic response to floods and waves around Tenryu River mouth, Proc. 34th ICCE, pp. 1-13.  
[https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7113/pdf\\_416](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7113/pdf_416)

Kobayashi, A., Uda, T., Serizawa, M., Miyahara, S. and Endo, M. 2014. Numerical simulation of deformation of sand bar formed at tip of Futtsu cusped foreland by the 2011 Tsunami, Proc. 34th ICCE, pp. 1-11.  
[https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7111/pdf\\_479](https://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/7111/pdf_479)

## 【2013】

- 杉山喜一郎・佐藤純一郎・宇多高明・石川仁憲・宮原志帆・芹沢真澄 (2013) : 富士海岸入道樋門の閉塞防止対策の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_796-I\_801.
- 宇多高明・大木康弘・三波俊郎・住田哲章 (2013) : 岬回りでの間欠的漂砂に起因する広域海浜変形, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_802-I\_807.
- 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・宮原志帆 (2013) : 三角形の湖の変形・分裂の数値計算, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_808-I\_813.
- 宇多高明・大中 晋・三波俊郎 (2013) : Tuvalu Funamanu 島への Cyclone Bebe による礫の打ち上げ実態調査, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_820-I\_825.
- 宇多高明・芹沢真澄・宮原志帆・三波俊郎 (2013) : サンゴ洲島への離岸堤設置がもたらす海浜変形の予測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_844-I\_849.
- 宇多高明・松井隆佳・尾崎文亮・星上幸良・芹沢真澄・宮原志帆 (2013) : 福井県浜住海岸の人工リーフの改良策の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_856-I\_861.
- 和泉恵之・伊藤一十三・武笠裕美・宇多高明・酒井和也・石川仁憲・袴田 代・菅原健太郎 (2013) : 礫浜の有する優れた護岸根固め機能の現地実測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_862-I\_867.
- 宇多高明・三波俊郎・五十嵐竜行 (2013) : 蒲原海岸の有脚式離岸堤周辺での地形変化実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol.69, No.2, p.I\_868-I\_873.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2013) : 浅海域に形成された砂州の変形に及ぼす海底掘削の影響: 数値モデルによる検討, 地形, Vol.34, pp.213-227.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2013) : リズミックな尖角岬群と砂嘴群の発達に及ぼす人工改変の影響, 地形, Vol.34, pp.37-53.
- 遠藤将利, 小林昭男, 宇多高明, 芹沢真澄 (2013) : セルオートマトン法を用いた 3 次元海浜変形予測モデルの現地海岸への適用, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I\_526-I\_530.
- 三波俊郎, 宇多高明, 石川仁憲, 大井戸志朗, 遠藤和正, 佐藤純一郎 (2013) : 天竜川河口右岸の浜松五島海岸で進む集中的な侵食の実態, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I\_646-I\_650.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 宮原志帆 (2013) : BG モデルによる湾口砂州形成の数値計算, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I\_661-I\_665.
- 宇多高明, 三波俊郎, 石川仁憲, 伊藤祐介, 白石慎重, 佐藤純一郎 (2013) : 御前崎海岸の海浜変形に及ぼす地殻変動の影響, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I\_666-I\_670.
- 和泉恵之, 伊藤一十三, 武笠裕美, 宇多高明, 酒井和也, 石川仁憲 (2013) : 二宮海岸における粗粒材養浜の現地実験, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I\_711-I\_715.
- 宇多高明, 大中 晋, 芹沢真澄, 泉 正寿, 三波俊郎, 宮原志帆 (2013) : Tuvalu Fongafale 島西岸における礫養浜計画の検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, No.2, p.I\_736-I\_740.
- 宇多高明, 高橋伸一, 中村和也, 三波俊郎, 宮原志帆, 酒井和也 (2014) : 風波と地震時の地盤沈下による潤沼広浦砂州の変形とその復元, 土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.70, No.4, I\_1189-I\_1194.
- 宇多高明, 芹沢真澄, 三波俊郎, 宮原志帆 (2013) : 水深と海底勾配が異なる海底地形条件下での砂嘴伸長の数値計算, 地形, Vol.34, pp.245-267.
- Endo, M., Kobayashi, A., Uda, T., Serizawa, M. and Noshi, Y. 2013. Model for predicting beach changes using

- cellular automaton method, Proc. Coastal Dynamics 2013, Paper No. 51, pp. 563-574.
- San-nami, T., Uda, T., Serizawa, M. and Miyahara, S. 2013. Prediction of devastation of natural coral cay by human activity, Proc. Coastal Dynamics 2013, Paper No. 138, pp. 1427-1438.
- Uda, T., Serizawa, M., Miyahara, S. and San-nami, T. 2013. Prediction of segmentation and mergence of shallow water bodies by wind waves using BG model, Proc. Coastal Dynamics 2013, Paper No. 166, pp. 1729-1740.
- Ishikawa, T., T. Uda, T. San-nami and J. Hosokawa (2013): Verification of shore protection effect of beach nourishment on Chigasaki coast, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 1-8.
- Serizawa, M., T. Uda, and S. Miyahara (2013): Effects of anthropogenic factors on development of sand spits and cusplate forelands with rhythmic shapes, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 9-16.
- Miyahara, S., T. Uda and M. Serizawa (2013): Prediction of topographic changes of a circular sandy island using BG model, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 17-23.
- Uda, T., M. Gibo, T. Ishikawa, S. Miyahara, T. San-nami and M. Serizawa (2013): Change in carbonate beach triggered by construction of a bridge on Irabu Island and its simulation using BG model, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 24-31.
- Ohki, Y., T. Uda, S. Miyahara, M. Serizawa, T. San-nami and A. Sumita (2013): Analysis of mechanism of sand deposition inside a fishing port using BG model, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 32-39.
- Noshi, Y., T. Uda, M. Serizawa and T. Kumada (2013): Topographic changes on Ajigaura Beach triggered by elongation of offshore breakwater, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 121-129.
- San-nami, T., T. Uda and S. Onaka (2013): Long-term shoreline recession on eastern Bali coast caused by riverbed mining, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 275-282.
- Sakai, K., T. Uda and T. San-nami (2013): Survival of shrines from the 2011 Great Tsunami, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 496-503.
- Seino, S., T. Uda and Y. Ito (2013): Field excursion to enhance coastal and environmental engineering Capacities of engineers in administrative positions, Asian and Pacific Coasts 2013, Proc. 7th International Conf., pp. 790-797.
- Uda, T., Ishikawa, T., Hosokawa, J., San-nami, T., Maruyama, S. and Serizawa, M. (2013): Expected fluvial sand supply from a river for reforming a river mouth delta-an example of the Sagami River, Proc. Advances in River Sediment Research, pp. 2141-2149.
- Uda, T., Ishikawa, T., Hosokawa, J., San-nami, T., Maruyama, S. and Serizawa, M. (2013): Expected fluvial sand supply from a river for reforming a river mouth delta-an example of the Sagami River, Proc. Advances in River Sediment Research, pp. 2141-2149.
- Masumi SERIZAWA, Takaaki UDA, Shiho MIYAHARA and Hee Do AHN. 2013. Prediction of development of sand spits with rhythmic shapes and their deformation by constructing structures using BG model, Proceedings of Joint Conference of the Korean Association of Ocean Science and Technology Societies (海洋科学技術協議会(KAOST) 2013 年度共同学術大会論文集, Korea).

【2012】

- 遠藤将利・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・野志保仁 (2012) : セルオートマトン法を用いた3次元海浜変形予測モデル, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_521-I\_525.
- 宇多高明・芹沢真澄・宮原志帆 (2012) : 浅海平坦面上にある複数の砂でできた円形島の相互干渉, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_586-I\_590.
- 宇多高明・三波俊郎・石川仁憲・白石慎重・佐藤純一郎 (2012) : 天竜川河口部地形の洪水・波浪応答に関する現地観測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_626-I\_630.
- 宇多高明・三波俊郎・石川仁憲・白石慎重・佐藤純一郎 (2012) : 竜洋海岸の離岸堤周辺で近年起こりつつある海浜変形モードの変化, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_631-I\_635.
- 福田 実・原 康寿・宇多高明・石川仁憲・宮原志帆・芹沢真澄 (2012) : 粗粒材養浜による二宮海岸の砂礫浜の回復方策の検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_681-I\_685.
- 石川仁憲・三波俊郎・宇多高明・細川順一・和田昌明 (2012) : 茅ヶ崎中海岸における養浜の海岸保全効果の検証, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_686-I\_690.
- 宇多高明・熊田貴之・清水達也・小林昭男・渡邊 徹 (2012) : 層状構造を持たせた礫養浜の前浜浸透と遡上高低減効果, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_691-I\_695.
- 竹内勇一・渡辺政雄・畑澤 俊・中西勇人・宇多高明・石川仁憲・古池 鋼・野志保仁 (2012) : 海底谷が近接する小田原国府津海岸における越波対策の検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.2, I\_716-I\_720.
- 宇多高明・三波俊郎・星上幸良・酒井和也 (2012) : 2011 年大津波の災害と被災を免れた神社, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_43-I\_48.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志保 (2012) : BG モデルによる細長い湖の分裂過程の数値計算, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_624-I\_629.
- 宇多高明・細川順一・中西勇人・古池 鋼・石川仁憲 (2012) : 神奈川県湯河原海岸の海浜変形予測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_630-I\_635.
- 大貫 崇・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・遠藤将利・野志保仁 (2012) : 太平洋に流入する中小河川の河口砂州の季節変動の観測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_654-I\_659.
- 宇多高明・清野聡子・三波俊郎・高瀬和博・柴崎 誠・酒井和也 (2012) : 宮崎海岸 (赤江浜) の海浜変形と侵食の実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_666-I\_671.
- 宇多高明・細川順一・中西史一・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2012) : 神奈川県初声海岸の海浜変形機構と対策検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_684-I\_689.
- 宇多高明・大木康弘・宮原志帆・芹沢真澄・三波俊郎・住田哲章 (2012) : BG モデルによる大津漁港泊地への堆砂対策検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_690-I\_695.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2012) : 海岸線急変部に設置された突堤と離岸堤の漂砂制御効果の比較, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 68, No. 2, p.I\_732-I\_737.
- 宇多高明・藤原博昭・宮原志帆・三波俊郎・芹沢真澄 (2012) : 日野川河口デルタを含む弓ヶ浜半島全域の海浜地形変化の再現と予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.68, No.1, pp.35-53.
- 宇多高明・細川順一・三波俊郎・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2012) : 河口デルタ復元に要する期待流出土砂量-神奈川県相模川の例-, 土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.68, No.4, I\_1711-I\_1716.
- 宇多高明・細川順一・三波俊郎・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2012) : 急流河川の河口デルタ復元

- に要する期待流出土砂量-神奈川県酒匂川の例-, 土木学会論文集 B1 (水工学), Vol.68, No.4, I\_1717-I\_1722.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2012) :BG モデルによるリズム的な砂嘴群と尖角岬群の不安定的発達予測, 地形, Vol.33, pp.1-23.
- 宇多高明・三波俊郎・星上幸良・酒井和也 (2012) : 2011 年大津波の災害と被災を免れた神社, 土木技術資料, Vol.54-5, pp.58-61.
- Uda, T., Sakai, K., San-nami, T. and Shimizu, T. (2012): Two distinguished effects of the 2011 Great Tsunami to the coasts along Sendai Bay: Damage to Arahama and trench formation behind the dike on Yamamoto coast, Trans., Japanese Geomorphological Union, 33-4, pp. 365-384.
- Uda, T., M. Serizawa and S. Miyahara. 2012. BG model based on Bagnold's concept and its application to analysis of elongation of sand spit and shore - normal sand bar (Chap. 16), pp. 339-374, in 'Numerical Simulation - From Theory to Industry' Andriyчук, M. ed., INTEC.  
<http://www.intechopen.com/books/numerical-simulation-from-theory-to-industry/bg-model-based-on-bagnold-s-concept-and-its-application-to-analysis-of-elongation-of-sand-spit-and-s>
- Sakai, K., Uda, T., San-nami, T. and Shimizu, T. 2012. Damage along coasts in Sendai Bay caused by the 2011 Great Tsunami, Proc. 33rd ICCE, currents.13, pp. 1-15.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6472/pdf\\_485](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6472/pdf_485)
- Serizawa, M., Uda, T. and Miyahara, S. 2012. Prediction of development of sand spits and cusped forelands with rhythmic shapes caused by shoreline instability using BG model, Proc. 33rd ICCE, sediment.35, pp. 1-11.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6534/pdf\\_534](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6534/pdf_534)
- San-nami, T., Uda, T., Ohashi, N., Iwamoto, H., Serizawa, M., Ishikawa, T. and Miyahara, S. 2012. Prediction of beach erosion caused by reduction of fluvial sand supply due to excess sand mining and beach recovery after prohibition of mining, Proc. 33rd ICCE, sediment.61, pp. 1-11.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6508/pdf\\_511](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6508/pdf_511)
- Uda, T., Serizawa, M. and Miyahara, S. 2012. Numerical simulation of three-dimensional segmentation of elongated water body using BG model, Proc. 33rd ICCE, sediment.65, pp. 1-11.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6533/pdf\\_448](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6533/pdf_448)
- Miyahara, S., Uda, T., Serizawa, M. and Watanabe, S. 2012. Offshore sand discharge caused by constructing coastal structures on a steep coast with a large shoreline curvature, Proc. 33rd ICCE, sediment.71, pp. 1-11.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6531/pdf\\_532](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6531/pdf_532)
- Fujiwara, H., Uda, T., Onishi, T., Miyahara, S. and Serizawa, M. 2012. Prediction of beach changes around artificial reef using BG model, Proc. 33rd ICCE, sediment.77, pp. 1-12.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6532/pdf\\_533](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6532/pdf_533)
- Ishikawa, T., Uda, T. and Miyahara, S. 2012. Moving gravel body method to control downcoast erosion, Proc. 33rd ICCE, management.40, pp. 1-14.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6523/pdf\\_531](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6523/pdf_531)
- Endo, M., Kobayashi, A., Uda, T., Serizawa, M. and Noshi, Y. 2012. Model for predicting beach changes using cellular automaton method, Proc. 33rd ICCE, posters.12.  
[http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6436/pdf\\_474](http://journals.tdl.org/icce/index.php/icce/article/view/6436/pdf_474)
- Uda, T., Sakai, K., San-nami, T. and Shimizu, T. (2012): Two distinguished effects of the 2011 Great Tsunami to the coasts along Sendai Bay: Damage to Arahama and trench formation behind the dike on Yamamoto coast, Trans., Japanese Geomorphological Union, 33-4, pp. 365-384.



【2011】

- 遠藤将利・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・野志保仁 (2011) : セルオートマトン法を用いた海浜変形予測モデル, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_456-I\_460.
- 宇多高明・宮原志帆・宜保 勝・勢理客 武・奥間 章・嶺井治男・三波俊郎・芹沢真澄・菊池昭男 (2011) : 伊良部島長山の浜の侵食実態と BG モデルによる海浜安定化検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_586-I\_590.
- 古池 鋼・宇多高明・石川仁憲 (2011) : 広域河口デルタの地形変化予測の精度向上-諸因子の影響度の検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_591-I\_595.
- 宇多高明・大橋則和・岩本仁志・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2011) : 静岡・清水海岸全域を対象とした海浜変形予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_596-I\_600.
- 筒井保博・岡村和久・熊切良行・三原武士・宇多高明・三波敏郎・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2011) : 富士海岸 (富士川河口～田子の浦港間) の海浜変形の実態と予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_601-I\_605.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2011) : 砂でできた円形島の変形予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_606-I\_610.
- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2011) : BG モデルによるリズムミクな砂嘴群と尖角岬群の不安定的発達への予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_611-I\_615.
- 野口賢二・諏訪義雄・宇多高明・三波敏郎・西村隆吉・古池 鋼・石川仁憲 (2011) : 福井県浜住海岸の地形変化予測と養浜効果検討, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_641-I\_645.
- 丸山将吾・磯貝朋之・元永 秀・宇多高明・酒井和也・石川仁憲 (2011) : 大磯海岸における砂誌試験体周辺の前浜地形変化の観測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_651-I\_655.
- 宇多高明・石川仁憲・宮原志帆・芹沢真澄 (2011) : Moving Gravel Body 工法の提案, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_661-I\_665.
- 花嶋正昭・坂本 繁・宇多高明・三波敏郎・石川仁憲 (2011) : 海浜地形変化モニタリング用の可搬型三次元計測システムの開発, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.2, I\_1356-I\_1360.
- 宇多高明・三波俊郎・宮原志帆・芹沢真澄・福澤一博 (2011) : 干潟海岸に流入する祓川河口部における地形変化の実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1039-I\_1044.
- 三波俊郎・宇多高明・石川仁憲・細川順一・塩入 同 (2011) : 空中写真と NMB 測量データに基づく平塚海岸の地形変化分析, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1111-I\_1116.
- 石川仁憲・宇多高明・古池 鋼・三波俊郎・三枝 薫・進藤 豊・和田昌明 (2011) : 礫の拡散を抑制しつつ浜幅を広げる手法の検討-茅ヶ崎中海岸の例, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1117-I\_1122.
- 石川仁憲・宇多高明 (2011) : 閉空間と開空間での粗粒材養浜がもたらす効果・影響の相互比較, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1153-I\_1158.
- 岡田昌之・田中浩充・宇多高明・石川仁憲・三波俊郎・芹沢真澄・神田康嗣 (2011) : 高波浪時における礫浜の変形と越波・浜崖形成防止に有効な養浜形状の検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1165-I\_1170.
- 宇多高明・渡辺宗介・細川順一・塩入 同・三波俊郎・石川仁憲 (2011) : 神奈川県逗子海岸の海浜変形と養浜の効果検討, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1171-I\_1176.

- 芹沢真澄・宇多高明・宮原志帆 (2011) : 浅い干潟面上で岸向きに発達する細長い砂州の形成予測-BGモデルの応用, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1189-I\_1194.
- 塩入 同・宇多高明・細川順一・三波俊郎・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2011) : 神奈川県鎌倉海岸 (材木座海岸と由比ヶ浜) の海浜変形予測, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1195-I\_1200.
- 宇多高明・百瀬尚至・遠藤和正・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲 (2011) : 遠州灘海岸 (天竜川～今切口) の広域海底地形変化の実態, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1206-I\_1211.
- 細川順一・宇多高明・塩入 同・三波俊郎・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲 (2011) : 神奈川県七里ヶ浜の海浜変形の実態と再現計算, 土木学会論文集 B3 (海洋開発), Vol. 67, No. 2, I\_1218-I\_1223.
- 芹沢真澄・宇多高明 (2011) : 海岸線急変部に発達する円弧状砂州周辺に建設された突堤による漂砂阻止の影響予測, 地形, Vol.32, pp.49-63.
- 岩瀬光平・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・野志保仁 (2011) : 動的平衡地形としての河口沖テラスの形成に関する実測と計算, 水工学論文集, 第 55 巻, pp.1549-1554.
- 宇多高明・芹沢真澄・熊田貴之 (2011) : 韓国西岸の江華島・大川・独山の海岸踏査, 土木技術資料, Vol.53-3, pp.54-57.
- 宇多高明・藤原博昭・芹沢真澄・宮原志帆 (2011) : 人工リーフ周辺の地形変化機構に関する実験と BG モデルによる海浜変形予測, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.67, No.1, pp.18-35.
- 宇多高明・三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼・石川仁憲 (2011) : 2011 年大津波による岩手県宮古湾の海岸災害, 日本沿岸域学会研究討論会 2011 講演概要集, No.24 (PDF), セッション 02-04.
- 大貫 崇・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・遠藤将利・野志保仁 (2011) : 河口位置の変動と沿岸漂砂の河口横断機構, 日本沿岸域学会研究討論会 2011 講演概要集, No.24 (PDF), セッション 03-04.
- 石川仁憲・宇多高明・大橋則和・岩本仁志・三波俊郎・宮原志帆・芹沢真澄 (2011) : 安倍川からの供給土砂量の増減に応じた静岡清水海岸の地形変化とその再現計算, 地形, Vol.32, pp.437-457.
- 宇多高明・酒井和也・三波俊郎 (2011) : 津波越流による堤防背後における大溝の形成と堤防裏のりの吸出し破壊, 土木技術資料, Vol.53-11, pp.60-63.
- Uda, T. and M. Serizawa. 2011. Model for predicting formation of bay barrier in flat shallow sea, Coastal Sediments '11, pp. 1176-1189.
- San-nami, T., K. Furuike, T. Uda and M. Serizawa. 2011. Formation of an arc-shaped accretive shoreline downcoast of sea cliffs and prediction of deformation, Coastal Sediments '11, pp. 1243-1256.
- Serizawa, M. and T. Uda. 2011. Prediction of formation of sand spit on coast with sudden change using improved BG model, Coastal Sediments '11, pp. 1907-1919.
- Kobayashi, A., T. Uda, M. Serizawa and T. Watanabe. 2011. Model for predicting recession of shoreline and sea cliffs composed of loose sand layers, Coastal Sediments '11, pp. 1962-1975.
- Ishikawa, T., T. Uda, K. Furuike and A. Yoshioka. 2011. Regional sediment management considering volume of sand and grain size, Coastal Sediments '11, pp. 2033-2046.
- Noshi, Y., Uda, T., Serizawa, M., Kumada, T. and Kobayashi, A. 2010. Model for predicting bathymetric and grain size changes based on Bagnold's concept and equilibrium slope corresponding to grain size composition, Proc. 32nd ICCE, sediment.15, pp. 1-13.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1075/pdf\\_177](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1075/pdf_177)
- Yamada, K., Uda, T., Suwa, Y., San-nami, T., Furuike, K. and Ishikawa, T. 2010. Mechanism of offshore sand

- discharge into submarine canyon triggered by construction detached breakwater close to shoreline, Proc. 32nd ICCE, sediment.18, pp. 1-11.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1096/pdf\\_189](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1096/pdf_189)
- Uda, T., Serizawa, M., San-nami, T. and Ishikawa, T. 2010. Prediction of formation of dynamically stable ebb tidal delta and measures for preventing offshore sand loss, Proc. 32nd ICCE, sediment.73, pp. 1-10.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1047/pdf\\_163](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1047/pdf_163)
- Ishikawa, T., Uda, T., San-nami, T. and Watanabe, S. 2010. Formation of dynamically stable lakeshore under seasonally changing wave direction, Proc. 32nd ICCE, sediment.85, pp. 1-12.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1028/pdf\\_162](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1028/pdf_162)
- San-nami, T., Uda, T., Serizawa, M. and Ishikawa, T. 2010. Sorting and selective movement of sediment on coast with steep slope- measurements and prediction, Proc. 32nd ICCE, sediment.105, pp. 1-11.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1048/pdf\\_164](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1048/pdf_164)
- Miyahara, S., Uda, T., Furuike, K., Serizawa, M., San-nami, T. and Ishikawa, T. 2010. Effect of sand bypassing at Sakuma Dam in Tenryu River as a measure against erosion of Tenryu River delta coast, Proc. 32nd ICCE, sediment.106, pp. 1-12.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1049/pdf\\_165](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1049/pdf_165)
- Furuike, K., Uda, T., Serizawa, M., San-nami, T. and Ishikawa, T. 2010. Quantitative prediction of sand discharge into submarine canyon off Morito River on Seisho coast, Japan, Proc. 32nd ICCE, sediment.107, pp. 1-13.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1050/pdf\\_166](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1050/pdf_166)
- Ishikawa, T., Uda, T. and San-nami, T. 2011. Effect of beach nourishment using gravel and tracking movement of gravel, Asian and Pacific Coasts 2011, Proc. 6th International Conf., pp. 191-198.
- Miyahara, S., Uda, T., Ishikawa, T., Furuike, K. and Serizawa, M. 2011. Prediction of long-term topographic changes of Tenryu River delta associated with sand bypassing at dam in upper basin assuming no coastal facilities, Asian and Pacific Coasts 2011, Proc. 6th International Conf., pp. 216-223.
- San-nami, T., Ishikawa, T., Uda, T., Harumi, T. and Akita, K. 2011. Beach erosion as long-term topographic response to avalanche and landslide associated with the 1923 Kanto Earthquake, Asian and Pacific Coasts 2011, Proc. 6th International Conf., pp. 250-257.
- Serizawa, M., Uda, T. and Miyahara, S. 2011. Model for predicting formation of slender sand bar due to shoreward sand transport on shallow tidal flat, Asian and Pacific Coasts 2011, Proc. 6th International Conf., pp. 1477-1484.

【2010】

- 下山陽平・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・野志保仁（2010）：海面上昇・下降時におけるバーム形状の変化予測モデル，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.461-465.
- 古池 鋼・宇多高明・細川順一・塩入 同・石川仁憲・芹沢真澄・三波俊郎（2010）：海底谷への土砂落ち込みの定量予測モデル-国府津海岸への適用，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.471-475.
- 芹沢真澄・宇多高明・横澤 綾（2010）：海岸線が急変する場での砂嘴の発達予測，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.476-480.
- 宇多高明・清野聡子・三波俊郎・柴崎 誠（2010）：深淺データに基づく宮崎県赤江浜の大規模地形変化の解析，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.491-495.
- 渡辺剛士・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・野志保仁（2010）：未固結の地層からなる崖と汀線の後退予測モデル-上総湊～磯根崎の侵食の再現-，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.496-500.
- 下山陽平・小林昭男・宇多高明・石川仁憲・遠藤将利（2010）：西湘海岸の大磯地先における礫の堆積状況調査，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.546-550.
- 宇多高明・三波俊郎・石川仁憲・平田邦夫・大橋則和・岩本仁志（2010）：清水海岸北部における 2006 年以降の海浜変形の実態，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.571-575.
- 宇多高明・宮原志保・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲・平田邦夫・大橋則和・岩本仁志（2010）：清水海岸の砂嘴北端部でのサンドリサイクルの影響評価，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.576-580.
- 元永 秀・丸山将吾・磯貝朋之・宇多高明・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲（2010）：高波浪時における中砂成分の選択的流出に起因する海浜変形の再現，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.581-585.
- 宇多高明・石川仁憲・三波俊郎・湖内真帆・進藤 豊・和田 昌明（2010）：定点カメラ画像の判読と幾何補正法による養浜効果の定量的測定，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.591-595.
- 諏訪義雄・山田浩次・宇多高明・宮原志帆・芹沢真澄・石川仁憲（2010）：高波浪に伴う沖の細砂堆積域での地形変化と掘削による汀線後退の機構，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.606-610.
- 石川仁憲・宇多高明・古池 鋼・鮫島 強・吉岡 敦（2010）：湘南海岸における土砂の質（粒径）と量を考慮した土砂管理計画の検討，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.641-645.
- 宇多高明・石川仁憲・古池 鋼（2010）：前浜養浜時における礫の拡散抑制手法，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.646-650.
- 宇多高明・田代洋一・石川仁憲・古池 鋼・三波俊郎・芹沢真澄（2010）：混合粒径土砂の盛土養浜時の広がり予測，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.651-655.
- 岡辺拓巳・青木伸一・宇多高明・芹沢真澄・加藤 茂（2010）：漁船の操業データを用いた沖合海底地形の変動解析について，海岸工学論文集，第 57 巻，pp.696-700.
- 石川仁憲・宇多高明・三波俊郎（2010）：粗粒材養浜時の海浜の質的变化と礫の移動特性，海洋開発論文集，第 26 巻，pp.1077-1082.
- 宇多高明・細川順一・塩入 同・三波俊郎・石川仁憲（2010）：西湘海岸における海浜縦断形と d50 の水深方向分布の特徴，海洋開発論文集，第 26 巻，pp.1095-1100.
- 宇多高明・三波俊郎・細川順一・吉岡 敦・石川仁憲（2010）：長期深淺データに基づく湘南海岸の長期的汀線変化の分析，海洋開発論文集，第 26 巻，pp.1101-1106.
- 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲・宮原志帆・横澤 綾・湖内真帆（2010）：浅海

- 平坦面上における砂嘴の発達予測, 海洋開発論文集, 第 26 巻, pp.1227-1232.
- 宇多高明・石川仁憲・宮原志帆・古池 鋼・芹沢真澄 (2010) : ダム再編事業に伴う天竜川河口デルタの長期変形予測-海岸構造物なしの条件, 海洋開発論文集, 第 26 巻, pp.1233-1238.
- 芹沢真澄・宇多高明(2010) : 浅海平坦面上に発達する Bay barrier の形成予測モデル, 地形, Vol.31, pp.33-54.
- 宇多高明・石川仁憲(2010) : 初めて訪れる海岸の調査法-Singapore の海岸の例-, 土木技術資料, Vol.52-4, pp.58-61.
- 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・横澤 綾 (2010) : 海岸線が急変する場での砂嘴の発達予測, 地形, Vol.31, pp.403-422.
- 宇多高明・三波俊郎・石川仁憲 (2010) : 霞ヶ浦 (西浦) 沖州地区の湖岸地形の変遷, 霞ヶ浦研究会報, 第 13 号, pp.65-74.
- Uda, T., T. San-nami and T. Ishikawa. 2010. Long-term changes in Lakeshore vegetation zone in Hasugawara region of Lake Kasumigaura, J. Hydroscience & Hydraul Eng., Vol. 28, No. 1, pp. 127-138.
- Uda, T. and M. Serizawa (2010): Model for predicting topographic changes on coast composed of sand of mixed grain size and its applications (Chap. 16), pp. 327-358, in 'Numerical simulations-examples and applications in computational fluid dynamics' Angermann, L. ed., INTEC.  
<http://www.intechopen.com/articles/show/title/model-for-predicting-topographic-changes-on-coast-composed-of-sand-of-mixed-grain-size-and-its-appli>
- Serizawa, M. and Uda, T. 2010. Model for predicting formation of bay barrier, Proc. 32nd ICCE, Posters.10.  
[http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1023/pdf\\_159](http://journals.tdl.org/ICCE/article/view/1023/pdf_159)

【2009】

- 野志保仁・宇多高明・芹沢真澄・熊田貴之・小林昭男（2009）：粒度組成を考慮した平衡勾配概念および Bagnold 概念に基づいた地形・粒径変化予測モデル，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.501-505.
- 宇多高明・青島元次・鮫島 強・吉岡 敦・古池 鋼・石川仁憲・宮原志帆（2009）：台風 0709 号時における茅ヶ崎中海岸の急激な侵食の再現，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.556-560.
- 宇多高明・丸山將吾・高野弘之・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲・宮原志帆（2009）：T0709 号時の高波浪による西湘海岸の急変形の再現計算，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.561-565.
- 宇多高明・森川数美・上橋 昇・大木孝志・芹沢真澄・神田康嗣・福本崇嗣（2009）：皆生海岸のクレスト型人工リーフ周辺の地形変化実態とその予測，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.571-575.
- 清水達也・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・熊田貴之・野志保仁（2009）：沿岸漂砂卓越海岸における多段バーの消失・形成予測モデル，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.606-610.
- 宇多高明・高尾治海・秋田和枝・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲・横澤 綾（2009）：海底谷への土砂落ち込みの予測モデル，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.626-630.
- 諏訪義雄・山田浩次・宇多高明・古池 鋼・三波俊郎・石川仁憲・横澤 綾（2009）：下新川海岸荒保地先における沖合への土砂損失機構，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.631-635.
- 細川順一・塩入 同・高尾治海・秋田和枝・宇多高明・石川仁憲（2009）：森戸川河口沖海底谷周辺でのカラーサンドによる漂砂観測，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.636-640.
- 宇多高明・大橋則和・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲・宮原志帆（2009）：清水海岸北部の侵食実態とその再現，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.641-645.
- 板屋英治・新垣 哲・宇多高明・夏目浩和・若松正樹・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲（2009）：リーフに流入する沖縄県億首川の河口閉塞防止対策の検討，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.646-650.
- 宇多高明・古池 鋼・宮原志帆・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲（2009）：ダム再編事業に伴う天竜川河口デルタの長期変形予測，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.651-655.
- 青島元次・鮫島 強・吉岡 敦・宇多高明・三波俊郎・石川仁憲（2009）：Narrow multi beam 測量データを用いた湘南海岸の土砂量の長期的変化，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.656-660.
- 野志保仁・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・熊田貴之（2009）：滑らかな縦断形を予測可能な 3 次元モデルを利用した養浜効果検討，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.691-695.
- 鶴岡春美・宇多高明・芹沢真澄・古池 鋼・福本崇嗣・星上幸良・宮原志帆（2009）：南九十九里浜における沖合養浜の追算と連続土砂投入の効果検討，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.711-715.
- 宇多高明・望月美知秋・鴨川 慎・芹沢真澄・三波俊郎・渡辺宗介・宮原志帆（2009）：霞ヶ浦浮島地区における湖浜安定化方策，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.726-730.
- 宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲・宮原志帆（2009）：沖合への土砂損失防止のためのサンドレイズ工法の提案，海岸工学論文集，第 56 巻，pp.731-735.
- 南岡大介・小林昭男・宇多高明・野志保仁・清水達也（2009）：ヨシの生育評価のための HSI モデルの提案-夷隅川河口左岸を例として-，海洋開発論文集，第 25 巻，pp.353-358.
- 野志保仁・小林昭男・宇多高明・熊田貴之・芹沢真澄（2009）：滑らかな縦断形を予測可能な地形・粒径変化予測モデルによる養浜効果検討，海洋開発論文集，第 25 巻，pp.1149-1154.
- 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲（2009）：河口砂州復元の 3 次元予測モデル，海

- 洋開発論文集, 第 25 卷, pp.1155-1160.
- 宇多高明・高尾治海・秋田和枝・三波俊郎・石川仁憲 (2009) : 埋立地造成に伴う湯河原海岸の海浜変形, 海洋開発論文集, 第 25 卷, pp.1191-1196.
- 宇多高明・高尾治海・秋田和枝・三波俊郎・石川仁憲 (2009) : 関東地震時の大規模土石流と根府川海岸の侵食の関係, 海洋開発論文集, 第 25 卷, pp.1245-1250.
- 宇多高明・三波俊郎・石川仁憲 (2009) : 霞ヶ浦における湖岸植生帯の長期的変遷-蓮河原地区の例, 水工学論文集, 第 53 卷, pp. 1363-1368.
- 岩瀬光平・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・野志保仁 (2009) : 辰巳水門付近における Shell Beach の形成機構, 第 21 回海洋工学シンポジウム, OES21-161, pp.1-5.
- 加藤史訓・諏訪義雄・宇多高明・神田康嗣・石川仁憲 (2009) : 新型消波施設の消波機能および漂砂制御機能の評価, 日本沿岸域学会研究討論会 2009 講演概要集, No.22, pp.143-146.
- 宇多高明・石川仁憲 (2009) : 数値シミュレーションがすべてか? 砂浜復元の場合, 土木技術資料, Vol.51-4, pp.56-59.
- 宇多高明・石川仁憲・酒井和也 (2009) : 粗粒材養浜による安定な砂浜の復元, 土木技術資料, Vol.51-7, pp.58-61.
- 宇多高明・古池 鋼・三波俊郎・芹沢真澄(2009) : 海食崖に続く堆積性弧状海岸線の形成とその変形予測, 地形, Vol.30, pp.331-348.
- 宇多高明・石川仁憲 (2009) : 霞ヶ浦の水位・波高・波向変動と汀線応答-浮島地区の例-, 霞ヶ浦研究会報, 第 12 号, pp.71-75.
- Uda, T. T. Kumada and M. Serizawa (2009): Large-scale circulation of littoral drift on coast with seasonal changes in wave direction and amplitude, Jour. Coastal Res., SI 56 (Proceedings of the 10th International Coastal Symposium), Portugal, pp.143-147.
- Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami, K. Furuike and T. Ishikawa (2009): Prediction of topographic changes of sand spit using BG model, Jour. Coastal Res., SI 56 (Proceedings of the 10th International Coastal Symposium), Portugal, pp.1060-1064.
- Fukuhama, M., T. Uda, K. Yamada, M. Serizawa, T. San-nami and T. Ishikawa. 2009. Prediction of development of sand body and movement of fine sand offshore of detached breakwaters, Proc. Coastal Dynamics 2009, Paper No. 39, pp. 1-12.
- Ishikawa, T., T. Uda, T. San-nami, G. Aoshima and A. Yoshioka. 2009. Comprehensive management of sand considering grain size on Shonan coast, Proc. Coastal Dynamics 2009, Paper No. 71, pp. 1-12.
- Kumada, T., T. Uda and T. Ishikawa. 2009. Theory and field test of beach nourishment using coarse sand and gravel, Proc. Coastal Dynamics 2009, Paper No. 75, pp. 1-11.
- Serizawa, M., T. Uda, K. Suzuki, S. Maruyama, H. Takano, T. San-nami and T. Ishikawa. 2009. Numerical simulation of rapid erosion of Seisho coast triggered by storm waves during Typhoon 0709, Proc. Coastal Dynamics 2009, Paper No. 93, pp. 1-14.
- K. Furuike, Uda, T., M. Serizawa and T. San-nami (2009): Conceptual model for predicting topographic changes of river-mouth bar, Trans., Japan. Geomorpho. Union, 30-3, pp. 201-217.
- Uda, T., M. Serizawa, T. Kumada and K. Sakai. 2010. A new model for predicting three-dimensional beach changes by expanding Hsu and Evans' equation, Coastal Eng., Vol. 57-2, pp. 194-202.
- Ishikawa, T., T. Uda, G. Aoshima and A. Yoshioka. 2009. Deducing past coastal conditions using old photographs and creation of predicted image of coast, Asian and Pacific Coasts 2009, Proc. 5th International

Conf., Vol. 2, pp. 83-89.

Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami, K. Furuike and T. Ishikawa. 2009. Model for predicting recovery of a river mouth bar after flood using BG model, Asian and Pacific Coasts 2009, Proc. 5th International Conf., Vol. 3, pp. 96-102.

San-nami, T., T. Uda, K. Furuike and Y. Hoshigami. 2009. Beach erosion of south Kujukuri Beach triggered by compound anthropogenic factors, Asian and Pacific Coasts 2009, Proc. 5th International Conf., Vol. 4, pp. 252-258.

Kumada, T., T. Uda, T. San-nami and M Sumiya. 2009. Beach erosion along cliffy coasts triggered by formation of wave shelter zone, Asian and Pacific Coasts 2009, Proc. 5th International Conf., Vol. 4, pp. 259-265.

Furuike, K., T. Uda, M. Serizawa, T. San-nami and T. Ishikawa. 2009. Model for predicting long-term beach changes originating from accretive features of a natural delta coast, Asian and Pacific Coasts 2009, Proc. 5th International Conf., Vol. 4, pp. 266-272.



【2008】

- 宇多高明・木暮陽一・銭谷秀徳・三波俊郎・石川仁憲（2008）：湖浜安定化から見た霞ヶ浦湖岸植生帯緊急保全対策の評価，水工学論文集，第52巻，pp.1213-1218.
- 宇多高明・木暮陽一・銭谷秀徳・熊田貴之・三波俊郎・石川仁憲（2008）：霞ヶ浦天王崎における湖浜再生に関する検討，水工学論文集，第52巻，pp.1219-1224.
- 石川仁憲・宇多高明・青島元次・吉岡 敦・三波俊郎（2008）：海岸保全とサーフィン利用の観点から見た台風9号による湘南海岸への影響，海洋開発論文集，pp.441-446
- 宇多高明・青島元次・吉岡 敦・三波俊郎・石川仁憲（2008）：湘南海岸における飛砂量の検討，海洋開発論文集，pp.1195-1200.
- 小林昭男・宇多高明・野志保仁・芹沢真澄（2008）：Coral reef における砂浜発達モデル，海洋開発論文集，pp.1231-1236.
- 福濱方哉・宇多高明・山田浩次・芹沢真澄・石川仁憲（2008）：前浜勾配と汀線の短期変動の予測モデル，海洋開発論文集，pp.1237-1242.
- 宇多高明・西谷 誠・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲（2008）：静岡海岸における sand body の移動促進策の検討，海洋開発論文集，pp.1261-1266.
- 古池 鋼・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲（2008）：河口デルタ海岸線における侵食域の圧縮現象，海洋開発論文集，pp.1267-1272.
- 宇多高明・今井雄二・三波俊郎・石川仁憲・古池 鋼・芹沢真澄（2008）：西湘バイパスの被災原因の検討，海洋開発論文集，pp.1285-1290.
- 宇多高明・宮原志保・古池 鋼・芹沢真澄・星上幸良・沖田勝俊（2008）：京都府後ヶ浜海岸の侵食実態，海洋開発論文集，pp.1315-1320.
- 宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・星上幸良・長山英樹（2008）：南九十九里浜の侵食と堆積の実態，海洋開発論文集，pp.1321-1326.
- 宇多高明・三波俊郎・長山英樹・住谷廸夫・熊田貴之（2008）：茨城県成沢・多賀・河原子海岸の侵食実態，海洋開発論文集，pp.1327-1332.
- 岩瀬光平・小林昭男・宇多高明・石川仁憲・野志保仁・清水達也（2008）：人為的要因による北下浦海岸の侵食と三浦海岸の堆積，海洋開発論文集，pp.1333-1338.
- 宇多高明・木暮陽一・銭谷秀徳・三波俊郎・石川仁憲(2008)：霞ヶ浦における植生帯と砂浜の消失要因の検討，地形，Vol. 29-2, pp. 187-201.
- 清水達也・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・野志保仁・熊田貴之（2008）：等深線変化モデルを応用したバー・トラフ形成に関する縦断モデル，海岸工学論文集，第55巻，pp.456-460.
- 芹沢真澄・宇多高明（2008）：BG モデルを応用した砂嘴の発達予測，海岸工学論文集，第55巻，pp.491-495.
- 宇多高明・熊田貴之・芹沢真澄・長山英樹(2008)：波向変動場で生じる漂砂大循環の発生メカニズム，海岸工学論文集，第55巻，pp.506-510.
- 宇多高明・渡辺宗介・古池 鋼・星上幸良・長山英樹(2008)：ヘッドランドの規模の相違が海浜変形と通過沿岸漂砂量に及ぼす影響，海岸工学論文集，第55巻，pp.566-570.
- 宇多高明・青島元次・鮫島 強・吉岡 敦・古池 鋼・石川仁憲（2008）：広域地形・粒径変化予測モ

- デルの湘南海岸への適用, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.606-610.
- 宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲(2008): ebb tidal delta の地形変化予測と沖への土砂損失防止策の検討, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.626-630.
- 宇多高明・長島郁夫・古池 鋼・宮原志帆・石川仁憲(2008): 天竜川ダム再編事業による流出土砂量の増加が海岸に及ぼす影響, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.656-660.
- 宇多高明・長島郁夫・横山卓司・松浦吉洋・古池 鋼・石川仁憲(2008): 静岡県竜洋海岸の海浜変形予測, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.666-670.
- 宇多高明・西谷 誠・大橋則和・三波俊郎・石川仁憲(2008): 清水海岸北端部の土砂動態と前浜掘削後の埋め戻し観測, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.671-675.
- 福濱方哉・山田浩次・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲(2008): 静岡海岸における sand body の発達と移動および沖合での細砂移動の予測, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.676-680.
- 宇多高明・高村光雄・藤元和雄・中西史一・壺岐信二・石川仁憲(2008): 三浦半島西岸の小規模なポケットビーチでの海浜変形の実態, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.711-715.
- 宇多高明・青島元次・鮫島 強・吉岡 敦・三波俊郎・石川仁憲 (2008): 粒径を考慮した土砂収支検討-湘南海岸の例, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.726-730.
- 宇多高明・古池 鋼・星上幸良・長山英樹 (2008): 南九十九里浜における侵食対策としての養浜の効果検討, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.731-735.
- 宇多高明・木暮陽一・銭谷秀徳・芹沢真澄・渡辺宗介・石川仁憲 (2008): BG モデルによる養浜時 3 次元湖浜変形予測, 海岸工学論文集, 第 55 巻, pp.741-745.
- 宇多高明・石川仁憲(2008): 海岸の見方-湘南海岸の例-, 土木技術資料, Vol.50-7, pp.60-63.
- 宇多高明・石川仁憲(2008): 河口部での土砂移動を安倍川河口に見る, 土木技術資料, Vol.50-10, pp.58-61.
- Yoshioka, A., T. Uda, G. Aoshima, K. Furuike and T. Ishikawa (2008): Field experiment of beach nourishment considering changes in grain size and prediction of beach changes Proc. 31st ICCE, pp.2694-2706.
- Fukuhama, M., T. Uda, K. Yamada, M. Serizawa and T. Ishikawa (2008): Model for predicting short-term variation of foreshore slope and shoreline applying concept of equilibrium slope, Proc. 31st ICCE, pp.1839-1850.
- Kumada, T., T. Uda and M. Serizawa (2008): Model for predicting the extension of habitat of Japanese hard clam *Meretrix lamareckii*, Proc. 31st ICCE, pp.4549-4561.
- Uda, T., M. Serizawa, M. Nishitani and T. Ishikawa (2008): Field investigation and numerical simulation of movement of sand body, Proc. 31st ICCE, pp.2051-2063.
- Nishitani, M., T. Uda, M. Serizawa and T. Ishikawa (2008): Measurement and prediction of deformation of conveyer belts carrying gravel and fine sand off Shimizu coast, Proc. 31st ICCE, pp.2570-2582.
- Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami, K. Furuike and T. Ishikawa (2008): Model for predicting formation of dynamically stable ebb tidal delta off tidal inlet, Proc. 31st ICCE, pp.2291-2302.
- Uda, T., T. San-nami and T. Ishikawa (2008): Damage to Seisho Bypass due to storm waves during Typhoon 0709, Jour. Disaster Res., Vol. 3, No. 5, pp.342-350.

【2007】

- 宇多高明・三波俊郎・長山英樹・住谷迪夫・大木康弘・熊田貴之 (2007) : 保安林および海岸保全区域の境界で起こる問題とその解決法, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1015-1020.
- 宇多高明・青木伸一・三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼・石川仁憲 (2007) : 遠州灘海岸の馬込川河口部の地形変化と中田島砂丘の保全, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1021-1025.
- 宇多高明・石川仁憲・福濱方哉・山田浩次 (2007) : 海岸保全施設としての「砂浜」の考え方, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1027-1032.
- 宇多高明・青島元次・山野 巧・吉岡 敦・三波俊郎・石川仁憲 (2007) : 神奈川県茅ヶ崎中海岸の事例にみる養浜の考え方, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1057-1062.
- 宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲 (2007) : Bagnold 概念に基づく海浜変形予測モデルによる港内堆砂と周辺海岸の侵食予測, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1063-1067.
- 芹沢真澄・宇多高明・星上幸良 (2007) : 等深線変化モデルによる海岸崖～海浜系の地形変化予測, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1069-1074.
- 宇多高明・高村光雄・久保田隆司・石川謙作・三波俊郎・石川仁憲 (2007) : 神奈川県秋谷海岸の侵食機構と養浜材の条件, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1099-1104.
- 芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼 (2007) : 海底谷への細粒土砂の選択的損失の予測モデル, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1165-1169.
- 宇多高明・青木高臣・星上幸良・古池 鋼・長山英樹 (2007) : ヘッドランドの沿岸漂砂阻止機能の定量的評価, 海洋開発論文集, 第 23 巻, pp. 1237-1242.
- 熊田貴之・宇多高明・芹沢真澄 (2007) : 卓越粒径集団に応じた平衡勾配を考慮した等深線・粒径変化モデル, 土木学会論文集 B, Vol. 63, No.2, pp.154-167.
- 宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・石川仁憲 (2007) : 波と河口流の作用下での大規模河口沖テラスの形成予測モデル, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.406-410.
- 宇多高明・吉添高兆・町井 靖・西谷 誠・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲 (2007) : 清水海岸の L 字突堤沖における細砂の移動帯の形成機構, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.421-425
- 野志保仁・小林昭男・宇多高明・熊田貴之・芹沢真澄 (2007) : 粗度組成に応じた局所縦断勾配を考慮した等深線変化モデル, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.426-430.
- 宇多高明・熊田貴之・三波俊郎・石川仁憲 (2007) : 霞ヶ浦大山地区における湖浜砂位の周期的変動の原因, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.471-475.
- 宇多高明・山本 学・三波俊郎・古池 鋼・星上幸良・石川仁憲 (2007) : 福井県浜住海岸の侵食実態と離岸堤群の漂砂制御効果, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.561-565.
- 宇多高明・吉添高兆・横山卓司・甲賀 肇・古池 鋼・村井健太・石川仁憲 (2007) : 天竜川からの供給土砂量の増加と遠州灘海岸の侵食の関係, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.596-600.
- 宇多高明・青島元次・山野 巧・吉岡 敦・古池 鋼・石川仁憲 (2007) : 茅ヶ崎海岸における粒径を考慮した養浜工の効果予測, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.631-635.
- 宇多高明・高村光雄・久保田隆司・石川謙作・熊田貴之・三波俊郎・石川仁憲 (2007) : 神奈川県秋谷海岸における海浜変形の実態と養浜工の効果予測, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.636-640.
- 宇多高明・吉添高兆・町井 靖・山本剛史・古池 鋼・芹沢真澄・石川仁憲 (2007) : 粒径を考慮した等深線変化モデルによる細砂・粗砂養浜の効果検討, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.641-645.

- 清水達也・小林昭男・宇多高明・熊田貴之・野志保仁・芹沢真澄 (2007) : ビーチカスプにおける粒径分級の数値計算, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.691-695.
- 山本 学・宇多高明・石川仁憲・星上幸良・福濱方哉・野口賢二 (2007) : 向岸流の抑制により局所洗掘防止を図る人工リーフの開発, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp. 806-810.
- 熊田貴之・宇多高明・芹沢真澄 (2007) : チョウセンハマグリの生息分布の予測モデル, 海岸工学論文集, 第 54 巻, pp.1201-1205.
- 宇多高明・西谷 誠・芹沢真澄・三波俊郎・石川仁憲(2007) : 等深線変化モデルによる sand body 移動の数値解析, 地形, Vol. 28, pp.399-414.
- Fukuhama, M., T. Uda, M. Serizawa and T. Ishikawa (2007): Change in longitudinal profile using sand of mixed grain size in large wave tank and its numerical simulation, Coastal Sediments '07, pp. 259-271.
- Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami, K. Furuike, T. Ishikawa and T. Kumada (2007) : Model for predicting beach changes on coast with sand of mixed grain size based on Bagnold's concept, Coastal Sediments '07, pp. 314-326.
- Kumada, T., T. Uda and M. Serizawa (2007): Quantitative evaluation of controlling effect of headland on longshore sand transport using model for predicting changes in contour lines and grain size, Coastal Sediments '07, pp. 2446-2459.
- Uda, T., M. Serizawa and T. Ishikawa (2007): Evaluation of controlling effect of sand transport by detached breakwaters built on dynamically stable beach, Coastal Sediments '07, pp. 2460-2472.
- Kumada, T., T. Uda, M. Serizawa, H. Ishii, T. Nakamura and Y. Oki (2007): Numerical simulation and field experiment on beach nourishment using coarse materials, Asian and Pacific Coasts 2007, Proc. 4th International Conf., pp. 1094-1105.
- Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami, K. Furuike and T. Ishikawa (2007): BG-model predicting three-dimensional beach changes based on Bagnold's concept and applications, Asian and Pacific Coasts 2007, Proc. 4th International Conf., pp. 1165-1179.
- San-nami, T., T. Uda, M. Serizawa and K. Furuike (2007): Investigation of evolution of lowland in Mekong Delta using satellite and aerial imageries, Asian and Pacific Coasts 2007, Proc. 4th International Conf., pp. 1298-1309.
- Uda, T., K. Furuike, T. Ishikawa, K. Murai and M. Serizawa (2007): Long-term prediction of beach changes triggered by rapid decrease in fluvial sand supply and effect of beach nourishment, Asian and Pacific Coasts 2007, Proc. 4th International Conf., pp. 1446-1459.
- Uda, T. and T. Ishikawa (2007): Method of practical site observation for facilitating understanding of a coast, Asian and Pacific Coasts 2007, Proc. 4th International Conf., pp. 1479-1489.

【2006】

宇多高明・三波俊郎・石川仁憲・大西敏郎・芹沢真澄・古池 鋼 (2006) : プークット島のパンシービーチにおける水難事故調査報告, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.933-938.

石井秀雄・中村友和・宇多高明・大木康弘・熊田貴之・芹沢真澄 (2006) : 茨城県神向寺海岸での粗粒材養浜による砂浜の安定化, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.887-892.

古池 鋼・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・星上幸良・高橋 功 (2006) : 河口砂州の変動予測モデル, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.899-904.

宇多高明・酒井和也・芹沢真澄・三浦正寛・星上幸良 (2006) : 海跡湖の湖口通過波による湖岸侵食と砂嘴の形成, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.433-438.

福濱方哉・宇多高明・芹沢真澄・古池 鋼 (2006) : 緩傾斜堤周辺の 3 次元海浜変形予測, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.445-450.

柴崎 誠・宇多高明・芹沢真澄 (2006) : 離岸流の発生間隔の予測式, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.917-920.

大中 晋・宇多高明・三波俊郎・小舟浩治 (2006) : ブラジル北東部の大規模砂丘-海浜系における漂砂機構の解明, 海洋開発論文集, Vol.22, pp.457-462.

宇多高明・三波俊郎・石川仁憲 (2006) : 海岸の急速な人工化を防ぐ上で必要な災害復旧制度の改良, 日本沿岸域学会研究討論会 2006 講演概要集, No. 19, pp. 226-228.

宇多高明・三波俊郎・石川仁憲 (2006) : 海岸の急速な人工化を防ぐ上で必要な災害復旧制度の改良, 海岸工学論文集, 第 53 巻, pp. 1321-1325.

宇多高明・片山靖浩・森 伸生・高橋 功・古池 鋼・芹沢真澄 (2007) : 河口砂州高を低減させるための人工リーフを用いた河口処理法の検討, 水工学論文集, 第 51 巻, pp.619-624.

宇多高明・木暮陽一・平野一彦・大内香織・三波俊郎・熊田貴之 (2007) : 霞ヶ浦浮島地区における湖浜再生に関する検討, 水工学論文集, 第 51 巻, pp.1325-1330.

芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼 (2006) : Bagnold 概念に基づく海浜変形モデル, 土木学会論文集 B, Vol. 62, No.4, pp.330-347.

Seino, S., T. Uda, S. Onaka, M. Serizawa and T. San-nami (2006): Large-scale excavation and land reclamation on reef flat and coral mining on Turtle Island in Bali, Indonesia, Proc. 10th International Coral Reef Symposium, pp. 876-881.

Noshi, Y., A. Kobayashi, T. Uda, T. Kumada and M. Serizawa (2006): Relationship between local seabed slope and grain size composition of bed materials, Proc. 30th ICCE, pp. 3030-3042.

Kumada, T., T. Uda, M. Serizawa and Y. Noshi (2006): Model for predicting changes in grain size distribution of bed materials, Proc. 30th ICCE, pp. 3043-3055.

Sumiya, M., T. Uda, T. Kumada and M. Serizawa (2006): Simultaneous prediction of beach changes and grain size distribution on coast with artificial headlands, Proc. 30th ICCE, pp. 3079-3091.

Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami and Kou Furuike (2006): Three-dimensional model for predicting beach changes based on Bagnold's concept, Proc. 30th ICCE, pp. 3155-3167.

Sakai, K., T. Uda, M. Serizawa, T. Kumada and Y. Kanda (2006): Model for predicting three-dimensional sea bottom topography of statically stable beach, Proc. 30th ICCE, pp. 3184-3196.

Furuike, K., T. Uda, M. Serizawa and T., San-nami (2006): Model for predicting dynamic changes in river mouth

bar, Proc. 30th ICCE, pp. 3295-3307.

Miura, M., T. Uda, M. Serizawa and Y. Kanda (2006): Theoretical extrapolation of open boundary condition of one-line model, Proc. 30th ICCE, pp. 3442-3454.

Uda, T., M. Serizawa, T. San-nami and K. Furuike (2006): Model for predicting dynamically stable beach based on analogy with two-dimensional potential flow, Proc. 30th ICCE, pp. 3911-3923.

【2005】

柴崎 誠,宇多 高明,小林 昭男,前田 友司,芹沢 真澄 (2005) : ビーチカスの形成・維持機構, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.416-420.

前田 友司,小林 昭男,宇多 高明,柴崎 誠,芹沢 真澄 (2005) : ヘッドランド周辺の水難事故と離岸流特性の関係, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.175-180.

野志 保仁,小林 昭男,宇多 高明,北 賢治,芹沢 真澄,熊田 貴之 (2005) : マクロ的視点から見た砂鉄分布特性と広域漂砂特性, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.611-615.

宇多 高明,菊池 昭男,三波 俊郎,芹沢 真澄,古池 鋼,柴崎 (2005) : リーフ海岸での侵食対策とその問題点, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.469-474.

野志 保仁,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄,熊田 貴之 (2005) : 局所勾配算定式の適用範囲と底質特性の新しい評価指標, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.406-410.

清野 聡子,古池 鋼,芹沢 真澄,渡辺 宗介,宮武 晃司 (2005) : 江戸川河口デルタ・三番瀬周辺の掘削穴の地形復元による波・流れ・土砂環境の修復, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.1176-1180.

芹沢 真澄,宇多 高明,星上 幸良 (2005) : 前浜養浜時の浜崖形成のモデル化, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.1011-1016.

宇多 高明,三波 俊郎,星上 幸良,芹沢 真澄,熊田 貴之,酒井 和也 (2005) : 卓越沿岸漂砂の阻止に起因した海岸侵食 紋別港～サロマ湖口の例, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.451-456.

三浦 正寛,宇多 高明,芹沢 真澄,小林 昭男,酒井 和也 (2005) : 汀線変化モデルの新しい開境界処理法, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.536-540.

宇多 高明,清田 雄司,前川 陸海,古池 鋼,芹沢 真澄,三波 俊郎 (2005) : 等深線変化モデルによる河口砂州の変形の再現と予測, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.576-580.

熊田 貴之,宇多 高明,芹沢 真澄,三浦 正寛 (2005) : 波の遮蔽域形成に伴う 3次元地形・粒径変化の予測法, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.1029-1034.

三浦 正寛,宇多 高明,芹沢 真澄,小林 昭男 (2005) : 飛砂による海浜砂の損失を考慮した汀線変化モデル, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.551-555.

住谷 廸夫,松浦 健郎,宇多 高明,高橋 功,大木 康弘,熊田 貴之,芹沢 真澄 (2005) : 粒度組成の平面変化を考慮した等深線変化モデルの鹿島灘海岸への適用, 海岸工学論文集 Vol.52, pp.546-550.

宇多 高明,清野 聡子,三波 俊郎 (2005) : 宮崎県一ツ葉海岸の侵食とアカウミガメの保護, 環境システム研究論文集 Vol.33, pp.63-71.

海野 修司,宇多 高明,佐藤 勝,清田 雄司,三波 俊郎,前川 陸海 (2005) : 相模川河口砂州の変動に関する現地調査, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.481-486.

宇多 高明,安本 善征,三波 俊郎 (2005) : 鳥取県岩美海岸陸上地区の海浜変形機構, 海洋開発論文集, Vol.21, pp.421-426.

宇多 高明,清野 聡子,大矢 忠一,安田 武夫,高橋 功,古池 鋼,屋上 幸良 (2005) : 沖合投入土砂の養浜効果予測手法の開発, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.641-645.

清野聡子・宇多高明・芹沢真澄・星上幸良 (2005) : 海岸の合意形成会議における数値シミュレーションのあり方-技術者と地元観察者のセッション-, 2005年度日本水産学会大会講演要旨集, 日本水産学会,

p. 263.

Uda, T., T. San-nami, M. Serizawa and K. Furuike (2005): Beach erosion in Japan as a structural problem, Proc. of the 14th Biennial Coastal Zone Conf., New Orleans, Louisiana, pp. 1-5.

Serizawa, M., T. Uda, T. Kumada, T. San-nami and K. Furuike (2005): Beach erosion caused by dredging of navigation channels at ports and river mouth, Proc. of the 14th Biennial Coastal Zone Conf., New Orleans, Louisiana, pp. 1-5.

Uda, T., M. Serizawa, S. Seino, Y. Hoshigami, T. San-nami and K. Furuike (2005): Summary of gently-sloping revetment in Japan, Proc. Inter. Conf. on Coastlines, Structures and Breakwaters, ICE, pp. 1-10.



【2004】

宇多 高明・芹沢 真澄・古池 鋼・三波 俊郎 (2004) : 2次元ポテンシャル流とのアナロジーに基づく動的安定海浜形状の予測法, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.491-495.

宇多 高明,大須賀 豊,遠藤 秀文,芹沢 真澄,三波 俊郎,古池 鋼 (2004) : Bali 島の Kuta 海岸の侵食原因に関する考察, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.1376-1380.

宇多 高明,大須賀 豊,大中 晋,芹沢 真澄,古池 鋼 (2004) : バリ島西部ペンガンベンガン漁港の建設とそれに起因する下手海岸の侵食, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.557-562.

三波 俊郎,宇多 高明,遠藤 秀文,芹沢 真澄,古池 鋼 (2004) : 衛星データを利用したメコンデルタの地形特性の判読, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.1085-1089.

三波 俊郎,宇多 高明,芹沢 真澄,古池 鋼 (2004) : 衛星データを利用した発展途上国の海岸低地の地形判読, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.1396-1400.

宇多 高明,菊池 昭男,三波 俊郎,芹沢 真澄,古池 鋼 (2004) : 沖縄県中城湾に位置する泡瀬干潟におけるサンゴ洲島の形成・変形特性, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.1013-1018.

清野 聡子,宇多 高明,芹沢 真澄,三波 俊郎,古池 鋼 (2004) : 干潟周辺域における海浜流系の発達と人工構造物建設による影響, 水工学論文集 Vol.48, pp.436-440.

三浦 正寛,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄,熊田 貴之 (2004) : 基礎資料不足の海浜における汀線変化予測モデルの開発, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.436-440.

宇多 高明,小林 昭男,酒井 和也,熊田 貴之,柴崎 誠,芹沢 真澄 (2004) : 検見川浜に見る緩傾斜護岸の建設による砂浜の喪失, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.551-555.

宇多 高明,三浦 正寛,芹沢 真澄,三波 俊郎,熊田 貴之 (2004) : 三浦半島西岸に位置する秋谷海岸の侵食機構, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.545-550.

宇多 高明,熊田 貴之,芹沢 真澄,星上 幸良,三波 俊郎,小林 昭男 (2004) : 侵食域の前浜上における砂鉄層形成のメカニズム, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.539-544.

清野 聡子,宇多 高明,高橋 功,芹沢 真澄,星上 幸良,内木場 俊 (2004) : 千葉県鴨川市海づくり会議での地域資料と数値計算の統合化による海浜環境変化の検討, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.486-490.

宇多 高明,佐藤 勝,清田 雄司,渡辺 宗介,芹沢 真澄,古池 鋼 (2004) : 相模川河口砂州と河ロテラスの変形機構, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.527-532.

野志 保仁,小林 昭男,熊田 貴之,宇多 高明,芹沢 真澄 (2004) : 底質粒度構成に応じた局所縦断勾配の算定法, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.406-410.

佐藤 慎司,宇多 高明,岡安 徹也,芹沢 真澄 (2004) : 天竜川-遠州灘流砂系における土砂移動の変遷と土砂管理に関する検討, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.571-575.

宇多 高明,芹沢 真澄,高橋 功 (2004) : 等深線変化モデルによるフラッシュ後の河口砂州の復元予測, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.541-545.

山本 正司,山形 浩一,大森 利幸,宇多 高明,芹沢 真澄,高橋 功 (2004) : 等深線変化モデルによる離岸堤・人工リーフ群周辺の海浜変形予測, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.426-430.

柴崎 誠,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄,熊田 貴之 (2004) : 離岸流の発生と窪みの形成・維持機構のモデル化, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.141-145.

熊田 貴之,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄,野志 保仁 (2004) : 粒度組成の 3 次元変化を考慮した等深線変化モデル, 海岸工学論文集 Vol.51, pp.441-445.

宇多 高明,三浦 正寛,芹沢 真澄,三波 俊郎,熊田 貴之 (2004) : 三浦半島西岸に位置する秋谷海岸の侵食機構, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.545-550.

中島 明日香,堀田 健治,宇多 高明,熊田 貴之,古池 鋼 (2004) : 人工海浜の護岸周辺におけるヤドカリ生息条件, 海洋開発論文集, Vol.20, pp.401-406.

Shibazaki, M., T. Uda, M. Serizawa, T. Kumada and A. Kobayashi (2004): On the configuration of rip channel accelerating development of rip current, Proc. 29th ICCE, pp. 1506-1518.

Miura, M., T. Uda, M Serizawa, T. Kumada and A. Kobayashi (2004): Development of practical one-line model applicable to coasts with scarce wave and topographic data, Proc. 29th ICCE, pp. 2048-2060.

Watanabe, S., M. Serizawa and T. Uda (2004): Predictive model of formation of a sand spit, Proc. 29th ICCE, pp. 2061-2073.

Osuga, Y., T. Uda, S. Onaka, S. Endo, M. Serizawa and T. San-nami (2004): Rapid formation of a barrier island and beach erosion caused by large-scale excavation of reef flat on carbonate beach, Proc. 29th ICCE, pp. 2074-2086.

Uda, T., T. Kumada and M. Serizawa (2004): Predictive model of change in longitudinal profile in beach nourishment using sand of mixed grain size, Proc. 29th ICCE, pp. 3378-3390.

【2003】

宇多 高明,大須賀 豊,大中 晋,石見 和久,三波 俊郎,芹沢 真澄,古池 鋼 (2003) : Bali 島南部 Nusa Dua 海岸の侵食と対策, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.1361-1365.

宇多 高明,大須賀 豊,大中 晋,石見 和久,芹沢 真澄 (2003) : バリ島東部チャンディダサ海岸の侵食実態, 海洋開発論文集, Vol.19, pp.351-356.

宇多 高明,大須賀 豊,大中 晋,石見 和久,芹沢 真澄,三波 俊郎,古池 鋼 (2003) : リーフの大規模掘削に起因するバリアーの形成と海岸侵食, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.1350-1360.

熊田 貴之,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄 (2003) : 沿岸・岸沖漂砂による粒径分級を考慮した等深線変化モデル, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.481-485.

宇多 高明,三波 俊郎,星上 幸良,内木場 俊,芹沢 真澄,古池 鋼 (2003) : 沿岸漂砂卓越海岸における汀線変化と海浜横断形変化の関係 -空中写真と現地踏査の組み合わせをもとに-, 海洋開発論文集 Vol.19, pp.357-362.

熊田 貴之,小林 昭男,酒井 和也,柴崎 誠,宇多 高明,芹沢 真澄 (2003) : 沿岸漂砂卓越場における混合粒径砂の3次元分級に関する実験と計算, 海洋開発論文集 Vol.19, pp.905-910.

芹沢 真澄,宇多 高明,清野 聡子,峰島 清八,高橋 和彦,星上 幸良,種崎 晴信 (2003) : 岩礁帯に隣接する緩傾斜護岸の越波特性を考慮した保全対策の検討 --千葉県白渚海岸の例--, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.651-655.

清野 聡子,宮武 晃司,芹沢 真澄,古池 鋼 (2003) : 江戸川河口デルタの人為改変と波・流れ環境の変化の数値的復元, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.1186-1190.

熊田 貴之,宇多 高明,芹沢 真澄,小林 昭男 (2003) : 混合砂による養浜時縦断形予測モデル, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.596-600.

酒井 和也,熊田 貴之,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄,野志 保人 (2003) : 混合粒径砂による離岸堤周辺の海浜変形の実験と計算, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.486-490.

清野 聡子,宇多 高明,芹沢 真澄,峰島 清八,高橋 和彦,星上 幸良 (2003) : 住民との合意形成に基づく海岸整備計画検討の実践 -千葉県白渚海岸の例-, 海洋開発論文集, Vol.19, pp.95-100.

芹沢 真澄,宇多 高明,小林 昭男,星上 幸良,三波 俊郎,古池 鋼 (2003) : 直立護岸との比較における緩傾斜護岸の越波量の評価と問題点, 海洋開発論文集, Vol.19, pp.237-242.

鳥居 謙一,福濱 方哉,人見 寿,宇多 高明,芹沢 真澄 (2003) : 等深線変化モデルによる人工リーフ周辺の海浜変形予測, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.491-495.

芹沢 真澄,宇多 高明,三波 俊郎,古池 鋼 (2003) : 等深線変化モデルの拡張による x-y メッシュ上の水深変化の計算法, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.476-480.

酒井 和也,小林 昭男,宇多 高明,芹沢 真澄,熊田 貴之 (2003) : 波の遮蔽構造物を有する海岸における3次元静的安定海浜形状の簡易予測モデル, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.496-500.

宇多 高明,清野 聡子,熊田 貴之,星上 幸良,芹沢 真澄,三波 俊郎 (2003) : 波の遮蔽構造物建設に起因して阿字ヶ浦・那珂海岸で進みつつある大規模侵食, 海洋開発論文集, Vol.19, pp.363-368.

宇多 高明,酒井 和也,熊田 貴之,星上 幸良,芹沢 真澄,三波 俊郎 (2003) : 保安林の前進および波の遮蔽域形成に伴う沿岸漂砂の変化による自然砂丘の狭小化 -近年における寺泊・野積海岸の変貌-, 海洋開

発論文集, Vol.19, pp.475-480.

柴崎 誠,宇多 高明,芹沢 真澄,熊田 貴之,小林 昭男 (2003) : 離岸流発生を助長するリップチャネルの形態について, 海岸工学論文集 Vol.50, pp.146-150.

Sakai, K., A. Kobayashi, T. Kumada, T. Uda and M. Serizawa (2003): Predictive model of three-dimensional beach changes on a coast with a seawall by expanding Hsu model, Coastal Sediments '03, pp. 1-15.

Kumada, T., A. Kobayashi, T. Uda and M. Serizawa (2003): Development of predictive model of shoreline and grain size changes, Coastal Sediments '03, pp. 1-14.

Uda, T., T. Takano, M. Serizawa, T. San-nami and K. Furuike (2003): Beach changes triggered by seaward development of Towns, expansion of coastal forest and construction of detached breakwaters at a pocket beach, Coastal Sediments '03, pp. 1-15.

Serizawa, M., T. Uda, T. San-nami, K. Furuike and T. Kumada (2003): Improvement of contour line change model in terms of stabilization mechanism of longitudinal profile, Coastal Sediments '03, pp. 1-15.

【2002】

星上幸良・熊田貴之・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼 (2002) : 館山湾に位置する船形漁港周辺の海浜変形, 海洋開発論文集, Vol.18, pp.473-479.

宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼 (2002) : 石川海岸の地形学的変化と手取川河口デルタの変形, 海洋開発論文集, Vol.18, pp.485-490.

宇多高明・菊池昭男・西隆一郎・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼 (2002) : 宮古島における海岸護岸の建設とそれによる人工海岸化・生態系の喪失, 海洋開発論文集, Vol.18, pp.695-700.

渡辺宗介・清野聡子・宇多高明・芹沢真澄 (2002) : 沿岸漂砂による海浜変形の相似則とその妥当性の検討, 海洋開発論文集, Vol.18, pp.707-712.

宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼 (2002) : 新潟海岸の新川漁港～巻漁港間で拡大しつつある海岸侵食の実態と今後の展望, 海洋開発論文集, Vol.18, pp.713-718.

宇多高明・芹沢真澄・熊田貴之・加留部亮太・三浦正寛 (2002) : 沿岸漂砂量, 波による地形変化の限界水深および波候特性の関係, 海洋開発論文集, Vol.18, pp.803-808.

菊池昭男・宇多高明・西隆一郎・三波俊郎・古池 鋼・芹沢真澄 (2002) : リーフ海岸における海面上昇起源の急激な海浜変形-宮古島西部に位置する前浜海岸の例-, 海岸工学論文集, Vol.49, pp.596-600. , 海岸工学論文集, Vol.49, pp.596-600.

宇多高明・清野聡子・吉田哲朗・酒井英次・三波俊郎 (2002) : 九十九里浜野手海岸の変遷と海岸人工化要因の検討, 海岸工学論文集, Vol.49, pp.541-545.

清野聡子・宇多高明・星上幸良・芹沢真澄・古池 鋼 (2002) : 海岸防護・環境・利用の調整のためのゾーニング手法の限界と"ポインティング"手法の提案, 海岸工学論文集, Vol.49, pp.1451-1455.

熊田貴之・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・星上幸良・増田光一 (2002) : 混合粒径砂の分級過程を考慮した海浜変形モデルの開発, 海岸工学論文集, Vol.49, pp.476-480.

熊田貴之・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・増田光一 (2002) : 河口デルタの汀線・粒径変化の予測モデル-沿岸漂砂による分級作用の再現-, 海岸工学論文集 Vol.49, pp.481-485.

芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・熊田貴之 (2002) : 海浜縦断形の安定化機構を組み込んだ等深線変化モデル, 海岸工学論文集, Vol.49, pp.496-500.

酒井 和也,小林 昭男,熊田 貴之,芹沢 真澄,宇多 高明,三波 俊郎 (2002) : 3次元 Hsu モデルによるポケットビーチ内の護岸周辺の静的安定海浜形状の予測, 海岸工学論文集 Vol.49, pp.631-635.

清野 聡子,宇多 高明,芹沢 真澄 (2002) : カブトガニ産卵地となる河口砂州周辺の海浜流の特性と産卵行動の関係, 海岸工学論文集 Vol.49, pp.1156-1160.

宇多 高明,山中 博,助川 進,高野 泰隆,大木 康弘,神田 康嗣,芹沢 真澄 (2002) : 河口からの遡上波による高潮災害とその対策-茨城県の瀬上川の例, 水工学論文集 Vol.46, pp.349-35.

渡辺 宗介,芹沢 真澄,宇多 高明,小河 正基 (2002) : 著しく大きな海岸線曲率を持つ海岸における地形変化予測手法の開発, 海岸工学論文集 Vol.49, pp.501-505.

Uda, T., S. Seino, M. Serizawa, T. San-nami and K. Furuike (2002):Rapid formation of sand body at shoreward edge of offshore dredging hole and resulting large change in sand spit, Proc. 28th ICCE, pp. 3461-3473.

Kumada, T., A. Kobayashi, T. Uda and T. San-nami (2002): Field observation of three dimensional changes of artificial beach and application of expanded Hsu model-the example of Kemigawa beach in Chiba Prefecture,

Japan, Proc. 28th ICCE, pp. 3711-3723.

【2001】

清野聡子・芹沢真澄・上田真寿夫・宇多高明（2001）：新海岸法の下での防護・環境・利用に配慮した越波対策検討の問題点，海岸工学論文集，第48巻，pp.761-765.

宇多高明・西隆一郎・菊池昭男・三波俊郎・熊田貴之（2001）：防波堤建設に伴うポケットビーチの変形と対策案の検討-天草白鶴浜を例として-，海岸工学論文集，第48巻，pp.686-690.

宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼（2001）：波の遮蔽構造物の建設に伴うポケットビーチの海浜変形-壱岐筒城浜の例-，海岸工学論文集，第48巻，pp.671-675.

市川慎一・宇多高明・三波俊郎・古池鋼・木戸浩彦・星上幸良（2001）：外洋に面した海岸における河口処理と河口地形の応答-九十九里南部に流入する南白亀川および一宮川河口の例，海岸工学論文集，第48巻，pp.621-625.

宇多高明・清野聡子・釘宮浩三・芹沢真澄・古池 鋼・三波俊郎（2001）：海底掘削穴岸側での急激な土砂堆積と砂嘴の大変形の機構，海岸工学論文集，第48巻，pp.606-610.

渡辺宗介・宇多高明・芹沢真澄（2001）：砂嘴の伸張予測モデル，海岸工学論文集，第48巻，pp.541-545.

熊田貴之・小林昭男・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・星上幸良（2001）：千葉県検見浜の海浜変形と3次元 Hsu モデルによる変化予測，海岸工学論文集，第48巻，pp.536-540.

渡辺宗介・小河正基・芹沢真澄・宇多高明（2001）：複雑な海底地形場における波峰線を用いた波高計算法とその適用範囲，海洋開発論文集，Vol.17，pp.37-42.

渡辺宗介・宇多高明・芹沢真澄・清野聡子・三波俊郎・古池 鋼（2001）：汀線変化の解析解の九十九里海岸への適用とそれに基づく漂砂量の諸係数の評価，海洋開発論文集，Vol.17，pp.457-462.

宇多高明・木戸浩彦・星上幸良・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼（2001）：千葉県外房の瀬戸浜に見る海岸の急激な人工化の要因分析，海洋開発論文集，Vol.17，pp.511-516.

清野聡子・宇多高明・芹沢真澄・渡邊義雄・吉田和幸・星上幸良（2001）：住民との合意形成に基づく海岸整備計画の検討-千葉県白渚海岸の例-，海洋開発論文集，Vol.17，pp.517-522.

熊田貴之・小林昭男・三波俊郎・宇多高明・芹沢真澄・古池 鋼（2001）：千葉県検見浜人工海浜の変形機構について，海洋開発論文集，Vol.17，pp.559-565.

宇多高明・古池 鋼・芹沢真澄・三波俊郎・清野聡子・渡辺宗介（2001）：石川県片野・塩屋海岸の海浜・砂丘地の変遷とその変形機構，海洋開発論文集，Vol.17，pp.565-570.

宇多高明・弘田英人・三波俊郎（2001）：郷土史に基づく南部石河海岸の侵食原因調査，海洋開発論文集，Vol.17，pp.571-577.

宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・清野聡子（2001）：緩傾斜護岸の望ましくない使用法とその是正法，海洋開発論文集，Vol.17，pp.631-636.

清野 聡子,宇多 高明,芹沢 真澄,渡邊 義雄,吉田 和幸,星上 幸良（2001）：合意形成に基づく越波対策・漁場保全・海岸利用の鼎立を目指した海岸整備計画の検討-千葉県白渚海岸の例-)，環境システム研究論文発表会講演集 Vol.29，pp.339-349.

【2000】

宇多高明・高田 修・星上幸良・芹沢真澄・三波俊郎・古池鋼（2000）：九十九里海岸における地質年代スケールの沿岸漂砂量の推定，海岸工学論文集，第47巻，pp.686-690.

芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・神田康嗣（2000）：Hsu モデルの三次元海浜変形予測モデルへの拡張，海岸工学論文集，第47巻，pp.601-605.

大中 晋・宇多高明・大貫輝雄・遠藤秀文・芹沢真澄・三波俊郎（2000）：バリ島 Nusa Dua 海岸におけるリーフギャップ周辺の波・流れの観測，海岸工学論文集，第47巻，pp.1311-1315.

宇多高明・清野聡子・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・五味久昭（2000）：海岸保安林防護と海岸保全の狭間で進む自然海岸の急激な消失-新潟海岸の事例-，海洋開発論文集，Vol.16，pp613-618.

渡辺宗介・清野聡子・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼（2000）：青森県三沢漁港周辺の海浜変形と今後の海岸保全，海洋開発論文集，Vol.16，pp607-612.

宇多高明・清野聡子・石川仁憲・芹沢真澄（2000）：駿河海岸南西部の歴史的侵食災害と現況の海岸保全上の問題点，海洋開発論文集，Vol.16，pp601-606.

宇多高明・石川仁憲・清野聡子・渡辺宗介・三波俊郎・古池 鋼（2000）：ポケットビーチ端部での離岸堤建設に伴う海浜変形-千葉県鴨川市の東条海岸での事例-，海洋開発論文集，Vol.16，pp595-600.

宇多高明・西村 晋・清野聡子・国栖広志・芹沢真澄・三波俊郎（2000）：カルフォルニア州サンディエゴのロマ岬およびデルマーにおける海食崖の現地踏査，海洋開発論文集，Vol.16，pp577-582.

渡辺宗介・清野聡子・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼（2000）：Surf-riding に適した条件の整理と前原海岸における Surf spot の変遷調査，海洋開発論文集，Vol.16，pp538-558.

宇多高明・清野聡子・石川仁憲・芹沢真澄（2000）：駿河海岸南西部の歴史的侵食災害と現況の海岸保全上の問題点，海洋開発論文集，Vol.16，pp601-606.

宇多高明・清野聡子・花田一之・五味久昭・石川仁憲・芹沢真澄（2000）：住民合意型海岸事業の推進方法-青森県大畑町木野部海岸での新しい試み-，海洋開発論文集，Vol.16，pp.523-528.

宇多高明・嶋田 宏・太田和彦・石河雅典・芹沢真澄・三波俊郎（2000）：伊勢湾西南海岸の現地踏査に基づく海岸線の自然環境保全と海岸保全に関する一考察，海洋開発論文集，Vol.16，pp.499-404.



【1999】

遠藤秀文・大中 晋・宇多高明・大貫輝雄・三波俊郎・古池 鋼・芹沢真澄 (1999) : リーフギャップ背後における三角形砂州の形成とその周辺における流れ、汀線変化の機構, 海岸工学論文集, 第 46 巻, pp.531-535.

渡辺宗介・清野聡子・宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼 (1999) : 防波堤の建設に起因する surf spot の形成機構-九十九里浜片貝漁港の例-, 海岸工学論文集, 第 46 巻, pp.1271-1275.

宇多高明・清野聡子・三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼 (1999) : 島の背後に伸びた砂州 (comet tail) の形状と卓越波向の関係-北九州の姫島, 間島を例として-, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.457-462.

芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・宇多高明・清野聡子・渡辺宗介・田子洋一・平野宜一 (1999) : 現地踏査による福島県久ノ浜・四倉・夏井海岸の海岸保全上の問題点の整理, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.481-486.

大中 晋・宇多高明・遠藤秀文・芹沢真澄 (1999) : 斜め空中写真を用いたサンゴ礁海岸の地形特性の判読, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.493-498.

石川仁憲・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・宇多高明・清野聡子・渡辺宗介 (1999) : お台場海浜公園の海浜変形とその保全に関する一考察, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.517-522.

宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・清野聡子 (1999) : 緩傾斜護岸に係わる様々な問題点の整理, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.523-528.

宇多高明・清野聡子・渡辺宗介・芹沢真澄・三波俊郎 (1999) : 青森県三沢漁港周辺の海浜変形の現地踏査と今後の侵食対策に関する考察, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.529-534.

三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼・宇多高明・鱈谷純夫・高野泰隆・大木康弘・賀上祐二・神田康嗣・五十嵐竜行 (1999) : 閉じた漂砂系での離岸堤設置に伴う周辺海岸での海岸侵食とその防止策の検討, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.535-540.

宇多高明・堀口瑞穂・石川仁憲・清野聡子・渡辺宗介・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・五味久昭 (1999) : 相良海岸の将来を考える公開討論会「オーシャンセミナー」について-合意形成のために-, 海洋開発論文集, Vol.15, pp.635-640.

清野聡子・宇多高明・綿末しのぶ・濱田隆士・三波俊郎 (1999) : 洪水に対する地域の自然・社会特性を反映した災害認識, 河川技術に関する論文集, Vol.5, pp.219-224.

宇多高明・清野聡子・三波俊郎 (1999) : 台風 9719 に伴う豪雨における大分県八坂川の氾濫実態-氾濫原における洪水流の流動痕跡調査, 水工学論文集, Vol.43, pp.175-180.

【1998】

清野聡子・宇多高明・真間修一・三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼・前田耕作・日野明日香（1998）：絶滅危惧生物カブトガニの生息地として見た守江湾干潟の地形・波浪特性，海岸工学論文集，第 45 巻，pp.1096-1100.

三波俊郎・宇多高明・芹沢真澄・古池 鋼・神田康嗣（1998）：海岸保全の立場から見た島式漁港についての新しい提案，海岸工学論文集，第 45 巻，pp. 656-660.

芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・神田康嗣（1998）：海底掘削に伴う浜崖侵食機構のモデル化，海洋開発論文集，pp.197-202.

宇多高明・清野聡子・芹沢真澄・古池鋼・三波俊郎（1998）：大分県奈多海岸および守江湾の現地踏査，海洋開発論文集，pp.251-256 .

宇多高明・三波俊郎・芹沢真澄・古池鋼（1998）：限られた現地海岸データから海浜変形要因について検討する手法—片瀬東浜、小動岬および七里ヶ浜を例として—，海洋開発論文集，pp.227-232 .

宇多高明・古池 鋼・三波俊郎・芹沢真澄・川森晃・山上佳範・鈴木将之・神田康嗣・加藤憲一（1998）：サロマ湖湖浜における砂嘴群の発達と原生花園の護岸との関係，海洋開発論文集，pp.221-226 .

石川仁憲・嶋田宏・古池 鋼・三波俊郎・芹沢真澄（1998）：新潟県柏崎海岸の海浜特性と養浜砂の移動状況，海洋開発論文集，pp.185-190 .

芹沢 真澄,宇多 高明,清野 聡子,山田 伸雄（1998）：埋設データロガーによる洪水時砂州流出の現地観測，土木学会年次学術講演会講演概要集第 2 部，第 53 巻，pp.774-775 .

【1997】

宇多高明・小菅 晋・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼 (1997) : d 50 の水深分布から波による地形変化の限界水深を推定する方法, 海岸工学論文集, 第 44 巻, pp.521-525.

芹沢真澄・三村信男・山田和人・Abdelaziz Rabie・三波俊郎・古池 鋼 (1997) : 海面上昇に対する南太平洋小島嶼国ツバルの脆弱性評価, 海岸工学論文集, 第 44 巻, pp.1241-1245 .

山田和人・芹沢真澄・大野栄治・三村信男・西岡修三 (1997) : 気候変動・海面上昇に対するツバルの脆弱性-南太平洋の極端に標高の低いサンゴ礁島嶼国の例として-, 第 5 回地球環境シンポジウム講演集, pp.127-132 .

宇多高明・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼・神田康嗣 (1997) : 波の遮蔽構造物建設に伴う周辺海岸の人工海岸化の原因とその防止策, 海洋開発論文集, Vol.13 , pp.651-656.

【1996】

宇多高明・芹沢真澄 (1996) : 浜崖の形成機構に関する一考察, 海洋開発論文集, Vol.12 , pp.409-414 .

芹沢真澄・宇多高明・三波俊郎・古池 鋼・神田康嗣 (1996) : 修正 HSU モデルによるヘッドランド周辺の最適安定海浜形状の計算法, 海岸工学論文集, 第 43 巻, pp.646-650 .

【1995】

Abdelaziz Rabie, Masumi Serizawa, Toshiro Sannami, Hisaaki Gomi (1995) : A Wave Prediction Technique Based on the Generalization of the Angular Spreading Concept, Proceedings of fourth International Conference on Coastal and Port Engineering in Developing Countries , pp.1883-1893, Rio de Janeiro, Brazil.

【1994】

Abdelaziz Rabie, Masumi Serizawa, Toshiro Sannami, Hisaaki Gomi (1994) : Method for Estimating Diffracted Irregular Wave Fields, Proceedings of the International Symposium : Waves-Physical and Numerical Modelling, pp.813-822, University of British Columbia, Canada.

芹沢真澄・伊庭智生・Abdelaziz Rabie・三村信男 (1994) : 港湾施設に対する海面上昇の影響検討ケーススタディ : フィジースバ港, 土木学会第 49 回年次学術講演会概要集, 共通セッション, 土木学会.

【1993】

芹沢真澄・Abdelaziz Rabie・三波俊郎・五味久昭 (1993) : 回折領域の不規則波浪場の簡単な計算法, 海岸工学論文集, 第 40 巻, pp.76-80 .

【1990】

芹沢真澄・小沢和男・三船修司・磯部雅彦 (1990) : 実務における屈折・回折・砕波計算への放物型方程式の適用性, 海岸工学論文集, 第 37 巻, pp.26-30 .